



地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu  
蒼穹

2016.6 Vol.123



M@tsu.naviから「松本大学へようこそ！」(詳しくは裏表紙をご覧ください)

特集

# 松本大学の改革と

# 今後の展望について ..... P.02

- 本学の「健康経営」に教職員が参加 ..... P.05
- 災害時に備え住民と図上シミュレーション訓練 ..... P.06
- 研究室紹介 ..... P.09
- 新年度の始まりにあたって(平成28年度人事短信・就任あいさつ) ..... P.10
- 「松本ユース平和ネットワーク事業」が活動 ..... P.12 ほか

# 松本大学の改革と今後の展望について

県内の高等教育環境が劇的に変化しつつある状況下、松本大学は、高校生に向けた「入学後の学生生活が具体的にイメージできる分かり易い表現」で、新(教育)学部はもとより、短大部を含む既設の各学部・各学科の学修内容を示そうと、この間精力的に取り組んで来ました。入口から中身・出口までを、いわゆる3つのポリシーの流れに沿い、どこまで簡潔にその魅力をアピールできるか、「カリキュラム改訂を伴う改革」を打ち出そうとしています。



建設が進む松本大学8号館(教育学部棟)

教育学部 学校教育学科(2017年4月開設・設置認可申請中)

## 新設される教育学部の特色について

教育学部設置準備室長 川島 一夫

### 【設立準備の段階】

本学では、県立大学設置の動きに対応して若手教員中心の会議が構成され、将来計画を議論する中で、「教育学部」構想が浮上しました。国立大学に行けない場合、教職の道を断念又は、関東、中部圏の私学進学を余儀なくされる高校生を、県内に引き留める試みです。文部科学省への「学生確保の見通し」の提出に向けて実施したアンケート調査結果では、この目論見は奏功しているように見えます。早速、教育学部設置準備室を設置し、「学部設置認可」「教職課程認可」「寄附行為の変更」と3つの関門に向けて取りかかりました。設置趣意書作成、教員募集、校舎等の設計、教育委員会や小学校・特別支援学校への協力依頼、資金計画など設立に伴う実務等は膨大ですが、着任予定教員も揃い、校舎の工事も順調で準備は着々と進んでいます。

### 【教育学部における教員養成の特色】

本学部では「小学校教諭一種」「特別支援学校教諭一種」の二つの免許を取得できます。小中対応の義務教育学校では中学校教諭免許も必要になりますが、これは既設の学科(社会:観光ホスピタリティ学科/保健体育:スポーツ健康学科)の科目履修で可能になります。また本学卒業生が備えるべき教員の資質(「教師力」として8つの力、①授業力、②子ども理解力、③地域連携力、④児童指導力、⑤学級運営力、⑥学校運営力、⑦地元力、⑧自己開拓力、を考えています(教育学部のディプロマ・ポリシーに対応)。



①は教員として当然備えるべき力で、各教科教育やその指導法等の科目を用意します。②では、教科科目の中に心理系科目も多数用意しています。③に対応して、地域の教育力を子ども達の学力伸長に活かすのが信州型コミュニティスクールの発想ですが、本学の特徴である地域連携教育を活用し、これを推進できる力を育みます。④⑤には多様な子ども達を受け入れる、教員としての幅の広さが要求されるため、学生時代には正課・正課外を問わず多様な経験を積み、心をつなぎ合えるチャンネルの拡大に取り組めます。学校インターンシップもその一つとなるでしょう。⑥のように、学級より大きなスケールでの取り組みでは、教員集団としての力が試されます。それには仲間と協力しての学修や自主企画成功への組織的取組等を経験しておくことが重要だと考え、「教学半(=We

learn by teaching)」と名付けた学修スペースも用意します。⑦には、地域を考える科目群を用意し、地域の歴史や文化を子ども達に伝えるため、将来の教員自身が学び場を設定しています。最後に⑧は、修得単位数は増えていますが、小学校に加え特別支援や中学校の免許取得にも挑戦する等、意欲的に取り組ませたいと考えています。⑦⑧はアドミッション・ポリシーにも関連します。

このように、家庭環境等も反映した子ども達の置かれた複雑な社会状況に対応できる力を付けた、タフな教員として送り出せるような教育を実施します(カリキュラム・ポリシー)。

### 【教育現場との協働に力を注ぐセンター機能】

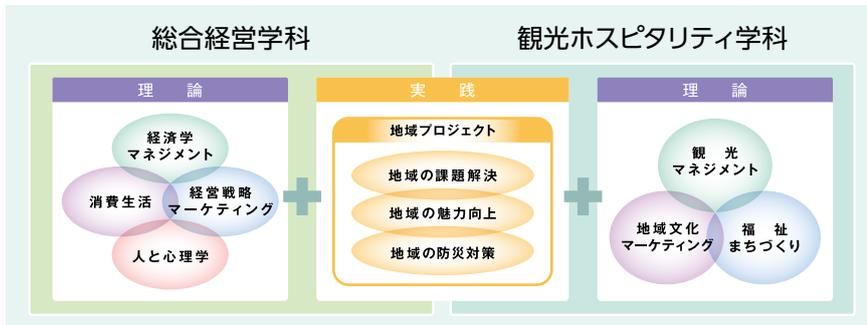
こうした教育の実践には、現場との協働を強化することが、必須の課題になります。そのため、研究面と教育面それぞれに2つのセンターを設けます。研究面では「教育相談・共同研究センター」と「社会進出支援センター」です。前者は、教育現場において教員が抱える問題を気軽に相談できる窓口であり、本学の教員と共にその解決策を探りますが、普遍性を持つ場合には共著論文として、その対応策を世に問う機会をつくるといふものです。後者は、特別支援学校で学んだ生徒が、卒業後に社会に受け入れられる場(進学や就職)を得られるかどうか多くの教員の関心の的であり、こうした社会的な問題に対しても、現場と本学部との協働でその打開策を探らしようとするセンターです。教育面では「学校インターンシップ推進センター」と「教育実習支援センター」があり、文字通り現場の先生方の協力を得て、本学で学ぶ学生の教員としての成長を促すことを目的としています。

このように、様々な課題に前向きに対処できる教員を養成する万全の体制を整え、現在文部科学省の審査を受けているところです。

総合経営学部

## 新たな専門分野の設定を予定

総合経営学部 学部長 増尾 均



総合経営学部では、総合経営学科と観光ホスピタリティ学科それぞれで、2017年度から新たな専門分野を設定します。

総合経営学科では専門分野として4つの分野を設けます。「経済学マネジメント」では、経済学と経営学の基礎的な理論と概念を学び、企業の目標達成のために人・モノ・金・情報などの経営資源を調整・統合する活動について学ぶことができます。「経営戦略マーケティング」では調査・分析・理論などからマーケティングを学び、

企業の競争優位を持続させる経営戦略について学べます。また、「消費生活」では基礎的な経済理論をふまえて家計・契約・消費者など生活における経済活動を学び、「人と心理学」ではカウンセリング心理学の理論と技法を学ぶことができます。

一方、観光ホスピタリティ学科では専門分野として3つの分野を設けます。「観光マネジメント」では長野県の観光資源を活かした観光ビジネス・国際観光・観光ま

ちづくりや次世代型の観光が学べます。「地域文化マーケティング」では地域づくりやまちづくりの専門家を養成する他に地域の自然・産物・文化を活かした商品開発を学び、「福祉まちづくり」では福祉ビジネス・地域福祉・次世代の福祉について学べるようになっていきます。

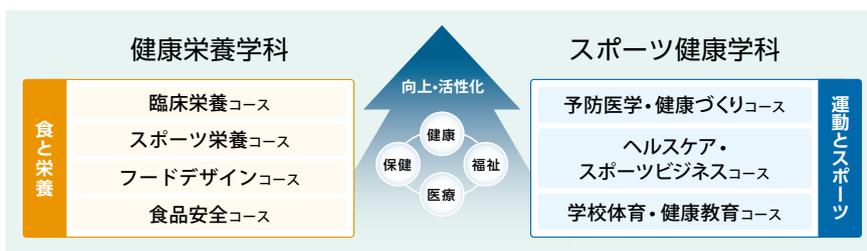
また、両学科とも2015年度から従来のゼミナールが行っていた研究と就職対策の機能を二分し、前者を専門研究・卒業研究に、後者をキャリア形成に分け、より深い専門知識と就職に関する実用的な知識を修得することができるようになっています。特に前者と一部の専門科目では、地域の魅力向上、課題解決、防災対策の3つの視点から現場で学ぶ「地域プロジェクト」という実践教育を行っています。これは、地域の中に学生自らが入り、地域の抱えている問題点を発見し、今まで修得してきた専門知識を活用して解決策を模索するものです。

総合経営学部では来年度以降も地域との取り組みをさらに強化し、地域と連携して地域と共に学生を育てる教育を継続していきます。

人間健康学部

## 10年間の実績を踏まえ新たな学部展開へ

人間健康学部 学部長 等々力 賢治



2007(平成19)年に開設された人間健康学部は、本年、開設10周年の節目を迎えました。これを機に、また、管理栄養士養成を掲げる健康栄養学科と競合する長野県立大学の2018(平成30)年4月開学を目前に、さらなる10年を睨んで新たな学部展開をすべく構想を練ってきましたので、以下に紹介します。

まず健康栄養学科は、2017年度より、従来どおり管理栄養士80名定員を維持しつつ、「臨床栄養」「スポーツ栄養」「フードデザイン」「食品安全」の4コース制を採用し

ます。前二者は説明不要であると思われるので、ここでは後の2コースについて触れます。「フードデザイン」コースは、六次産業化に典型的な食の商品化やそれをより多く販売するためのデザイン、マーケティングなどについて、また、「食品安全」コースは、安全という観点で食の生産場面から消費場面までのサイクルについて理化学的側面から、それぞれ学びを深めようというものです。コースは学びの多様化に 대응することを目的とするものであり、学生の希望に基づいて選択できます。また、各コースで

取得できる資格についても検討済みであり、これまた多様な要望に十分応えるものになったと自負しています。

次にスポーツ健康学科についてですが、こちらは、「予防医学・健康づくり」「ヘルスケア・スポーツビジネス」「学校体育・健康教育」の3コース制を採用します。それぞれの内容は、従前より示してきた学びの3領域を柱に、この10年間の経験を踏まえいっそうの充実を図っています。すなわち、健康づくり領域ではより専門性の高い予防医学を、ビジネス領域では近年注目されているヘルスケアを、そして学校体育領域では実績を上げつつある養護教諭の養成を、それぞれ大胆に採り入れることを志向したものです。

周知のように、我が国は今、独居高齢者の増加を含んだ超高齢社会を迎えつつあり、「健康」の維持増進が避けることのできない課題であるのは多言を要しません。人間健康学部はそれに全力で取り組もうとしており、今後のコース制採用という改革を内実として、新たな10年を踏み出そうとしています。

松商短期大学部

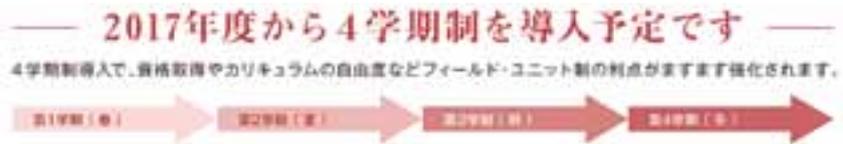
## 4学期制を活用した“コンピテンス”の育成

松商短期大学部 学部長 糸井 重夫

松商短期大学部では、学生が将来活用できる“汎用的能力(コンピテンス)”に着目して、「地域の教育力」を活用した“実践と体験”による“頭と身体”を動かすアクティブ・ラーニングを推進してきました。また、学修目標の明確化と就学意欲の向上の観点から「フィールド・ユニット制」を導入するとともに、本学で育成すべき中心的なコンピテンスとして「メモを取る力」に注目し、短大生活の様々な場面でメモを取る取り組みを実施してきました。そして、平成29年度からは、1週間に同一科目の授業を複数回実施することで、集中して学修する環境を整備し、様々なコンピテンスを育成するために、4学期制の導入を予定しています。

本学の4学期制は、4月～6月、6月～8月、9月～11月、12月～3月の4学期制(「2・3・3・4」制)を予定しています。第1学期は6月中旬で終了し、6月下旬から第2学期が始まります。また、第3学期は9月に始まり、第4学期は12月から3月までの4ヶ月となります。これは、9月や3月に新学期が始まる海外の大学への編入や進学に対応するとともに、2月下旬から始まる1年生の就職活動や、2年生の新入社員研修に対応して第4学期を長めにした結果です。

この4学期制の導入により、検定試験や資格取得に対応した集中授業が可能になり、1週間に複数回授業を行うことで、講義系の科目においても知識の定着とコンピテンスの育成が期待されます。また、一つの学期を使って1～2ヵ月の海外留学や長期のインターンシップ、ボランティア活動などを行うことで、本学の4学期制はグローバル社会に対応したコンピテンスの育成も意図しています。特に、海外留学や海外インターンシップ等の体験を通して、意識の面でも、また知識・技能の面でもグローバル化した実社会への円滑な移行が図られ、一人一人のキャリア形成を促すことが期待されます。



大学院健康科学研究科

## より特長のある大学院を目指して

大学院健康科学研究科 研究科長 山田 一哉

大学院健康科学研究科では、より特長のある大学院にするために、以下の改革を行っています。まず本大学院が扱う「健康

科学領域について、厚生労働省の「健康日本21」の「栄養」・「運動」・「休養」の領域から、WHOが提唱する「こころ」や「社会・環境」も含めた「健康」科学に変更しました。そのために、自然科学的な学問領域だけではなく、人文社会科学的学問領域の科目も増やしています。また課題点は見いだしているものの解決のための知識やスキル等に乏しい社会人院生に



は、基礎的研究能力の開発やリカレント教育(社会人が必要に応じて学校へ戻って再教育を受ける、循環・反復型の教育体制)を充実させることにしました。逆に、管理栄養士や健康運動士資格をとったばかりで経験のない院生には、実際の現場に出て課題を見つけ、それを大学院でアカデミックに解決できるようにするために、「特別研究」に半年以上の長期インターンシップを導入することにしました。

より広く優秀な院生に入学してもらうために、社会人入試は英語筆記試験のみとしました。また、学内で進学を希望する受験生には、人間健康学部で一定の基準(GPA)を満たした場合、筆記試験を免除して口頭試問のみとする推薦入試制度を導入することにしました。

大学院では将来的に、グローバル化・高度化に対応するために博士課程の設置も視野に入れています。

### 松本大学、松商短期大学部 平成27年度認証評価で「適格認定」

松本大学は、平成27年度の財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定されました。また松商短期大学部は、財団法人短期大学基準協会による第三者評価を受審し、財団法人短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから適格と認定されました。



# —運動の継続性を高めストレス要因を軽減する「タグフィットネス」— 本学の「健康経営」に教職員が参加

人間健康学部 学部長・教授 等々力 賢治

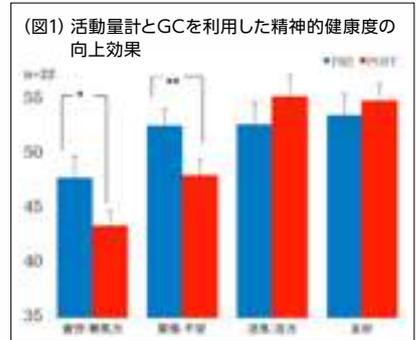
4月27日に、日本橋三越本店の三越劇場において、「日経 健康セミナー21『健康経営』時代における従業員の“こころ”と“からだ”の健康支援」(日本経済新聞社主催)が開催されました。セミナーでは、まず等々力が「ストレス社会における健康経営と健康づくりの必要性」と題して基調講演を行い、続いて本学大学院健康科学研究科の根本賢一教授、池の平ホテル&リゾート(以下、池の平ホテル)の矢島義廣社長、そして本学卒業生であり同ホテルで健康運動指導士として活躍中の小澤ひかるさんも加わって、「リゾートで始める健康づくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。セミナーは、定員300名にもかかわらず800名近い事前申込みがあり、企業関係者の「健康経営」に対する関心の高さを十分にうかがわせるものでした。

同セミナーの概要は6月6日付の『日本経済新聞』(全国版)に掲載されており、池の平

ホテルの取り組みと本学との関わりについては下段、根本教授の報告にありますのでそれぞれご覧いただくこととし、ここでは、セミナーでも紹介した本学が取り組む「タグフィットネス」と、「健康経営」をめぐる今日的な状況について触れることにします。

まず「タグフィットネス」ですが、これは私たちの造語です。タグは「協力する、繋がる」などといった意味があり、フィットネスは「快適に日常生活を送ることのできる身体的状態」といった意味があります。私たちは、運動を行う方にウェアラブル端末の「歩数計(活動量計)」を身につけてもらい、一日単位で得られたデータをインターネット上のクラウドサーバーに集めるグループコンペ(GC)サイトを形成、利用しました。それによって、全参加者がデータを共有し励まし合ったり競争することを通じて運動の継続性を高め、参加者相互が繋がりをコミュニケーションを活性化できるのではないかと考えたからです。

本学の教職員と(株)プラルトの社員の皆さんに「タグフィットネス」を実践してもらい測定を行ったところ、予想どおりの効果が見られたことに加え、「怒り」や「抑うつ」「不安」といったネガティブな精神的状態も大きく改善したという結果が得られました(図1参照)。つまり、運動を媒介にコミュニケーションが活性化し、そのことに



よって孤立感や緊張感といったストレス要因が軽減されたのです。

昨年12月に「ストレスチェック」が法制化されたことをきっかけに、企業が従業員や社員の健康づくりを経営課題として捉える「健康経営」が注目され、厚生労働省も強力に後押ししています。にもかかわらず、それをどう進めたらよいのか、多くの企業が戸惑っているというのが実情です。今回私たちが試みた、運動の継続性を高め参加者のストレス要因を軽減する「タグフィットネス」は、手軽に取り組むことができる、「健康経営」における有力な運動処方の一つといえます。

ちなみに、本学では教職員約40名がこれを継続しており、いわば、本学における「健康経営」の初の試みとなっています。



## 池の平ホテルと連携し健康指導を継続

大学院健康科学研究科 教授 根本 賢一

池の平ホテルと松本大学は、2011年4月に連携協定を結び、老若男女問わず、“その人なりの”健康づくりを支援することを目的に、運動指導を中心に行う「いきいき診断ルーム」を開設しました。ホテルには、本学スポーツ健康学科で学び、厚生労働大臣認定資格の健康運動指導士資格を有する3名が常駐しており、生活習慣病予防、転倒予防、体力増加、美容・ダイエットなどを主なメニュー



とした、「健康いきいき診断プログラム」や「キレイに歩こう!! ウォーキング講座」などを継続的に展開しています。近年で

は、企業や自治体などの団体から健康づくりサポートの依頼や、医療機関から健診の数値改善のための指導依頼が多数寄せられるようになりました。

私たちは、白樺高原にある池の平ホテルの立地条件と、リゾート地で運動メニューを提供できるという特性を活かし、日常生活から離れ、気分を一新して運動を始めるきっかけづくりに取り組んでいます。これらのプログラムを、内発的な動機づけを目指し、豊かな自然の中で楽しく効果的に運動ができる新サービスの提供機会と捉え、これからもトレーニングメニューの監修やウォーキング講座などを中心に、学生とともに継続して支援していきたいと考えています。



## 災害時に備え住民と図上シミュレーション訓練 PBL型授業で学びを深める

COC戦略部門 防災防犯対策部会長 尻無浜 博幸

PBL(Project Based Learning)型授業とは、「プロジェクト型学習」や「問題解決型授業」などと訳されることが多い、特定の課題に特化してその解決を目指していく授業です。大学COC事業の中で防災士の養成を始めとする防災関連の取り組みについては、このPBL型授業で学びを深めています。

従来は、防災訓練を行っていましたが、今回は3月7日に、大学の地元である新村地区における災害時の図上シミュレーション訓

練を、住民と学生とともに試みました。災害時、学生に対する地区の期待は大きいものの、学生の対応は期待に応えるレベルにはなっていないのが現状です。そこで、災害発生直後における、新村地区の動きと松本大学の動きを、地図上で行ってみました。

想定される行動として、「一時避難場所での安否確認を行う」としました。新村地区では、14町会の各公民館が災害発生後の一時避難場所として設定されます。一時

避難した住民はその後、指定避難場所である松本大学に移動することになっていました。今回の図上シミュレーション訓練で、それぞれの一時避難場所での安否確認情報を、対策本部に設定されている新村公民館にいち早く、誰が伝達するのかが問題になりました。議論の結果として、各町会で「一時避難場所での安否確認を行う」としかかっていない現状を一步進め、「対策本部に各町会の情報をいち早く伝達する＝学生が担う」可能性を見出しました。仮に学生が担うとした場合、学生が地図を見て一時避難場所まで行けるのか?所要時間はどのくらいか?そのための備えは?など多くの意見が発展的に出されました。

今回の訓練は、新村地区自主防災サポーターを中心とする地区役員の方々の協力で、学生と一緒に議論することができました。訓練のための訓練ではなく、まさしくリアルに問題解決を図り、実際の生活に活かされていく実感を得ることができたのではないかと振り返っています。今回の議論を次の訓練でまたさらに積み上げていく計画です。



## 子ども達が「馬耕」体験で笑顔 地域の方々と共にプロジェクト開催

スポーツ健康学科 教授(馬耕体験プロジェクト実行委員長) 中島 弘毅

4月30日に、第5回馬耕体験プロジェクトを開催しました。青空と残雪を被った北アルプスの下、大学近くの新村の田んぼに約300名が訪れ、多くの家族連れの笑顔が溢れました。

本プロジェクトは地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の助成を頂くとともに、松本市及び生坂村教育委員会並びに松本大学同窓会の後援を頂き実施しました。また、柳澤清実さんが田んぼを提供していただき、小林愛馬会の全面的支援を受け、さらに(株)チクマスキ、堀米十

日会、そば会、その他多くの協賛各社と広く地域の方々のご支援を賜りました。人間健康学部の中島ゼミ、廣田ゼミ、レクリエーション論を受講する学生も多数参加し、運営を担ってくれました。

プロジェクトのねらいは、子ども達に自然、生き物に触れ合ってもらうとともに産業技術史の一端である馬に犁をつけて田んぼを耕すという昔ながらの農作業を実際に体験してもらうことにあります。本プロジェクトでは馬耕のみならず、乗馬体験、馬へのえ



さやり体験、トン汁の提供も行ないました。日本の原風景ともいえる田んぼに身を置く本活動が、祖父母を含めたご家族での談笑の場となり、大人による様々な切り口からの話が子ども達の興味関心を促す場になってくれたらいいなと思っています。そして本活動が日本の原風景と文化の継承に少しでも寄与し、子ども達がいのちを感じ、自然の大切さと素晴らしさを知り、それが未来に生き、繋がってくれたらと願っています。

最後に、プロジェクトを開催するにあたり、多くの方々から多大なご支援を頂いたことに改めて感謝し、実施の報告といたします。



## アレルギー予防につながる「4つのF」を学ぶ 健康栄養学科特別講演会を開催

健康栄養学科 教授 山田 一哉

COC+事業の一環として、4月22日に健康栄養学科特別講演会「未病を治す4つのF(Filter, Functional food, Flagellin, Fango)」を開催しました。高知大学教育研究部医療学系連携医学部門環境医学の弘田量二先生を講師にお招きし、本学の学生、教職員も含め約160名が聴講しました。

「公衆衛生とは病気を未病段階で治療し、人々の健康に役立てることを目的とする」ということで、先生は4つのFについて研究されています。4つのFとは、環境中からのアレルギー誘導物質を除去する Filter、アレルギー予防効果を示す機能性食品 (Functional food)、アレルギー誘導物質の侵入を防ぐ皮膚バリアー (Flagellin)、関節痛を軽減し寝たきり高齢者を増やさない温泉泥 (Fango) プロジェクトです。

先生は気管支喘息に注目し、スギ花粉などのアレルギーに加えてディーゼル排気ガスやPM2.5などアジュバントと呼ばれる物質を同時に吸入することで相乗的に喘息が引き起こされること、そしてアジュバントを効率的に除去できるフィルターの存在も紹介されました。また、高知特産の柚子の皮に含まれるリモネンが試験管内でも生体内でも抗アレルギー効果を有する機能性成分であること、スイゼンジノリから抽出した粘性多糖類のサクランの塗布で皮膚バリアーを強化することでアトピー性皮膚炎を軽減できること、さらに、温泉泥による膝の痛み軽減の効果についてもお話されました。



先生の研究は、疫学に始まり、アレルギー等の除去フィルターの開発、機能性成分の試験管内実験・動物実験・ヒトへの応用、地域産業と連携した地域活性化事業と非常に幅広いものでした。聴講した学生からは、研究っておもしろそう、アレルギーをもってしているので、いろいろな方法でアレルギーを予防したい等の感想が出ました。今回の講演会をきっかけに、将来、研究方面に進んでくれる学生が一人でも多くなることを期待しています。

### Information

## 平成28年度 松本大学防災士養成研修講座のお知らせ

長野県内唯一の防災士養成研修機関である松本大学は、平成28年度「防災士養成研修講座」を10月8、9日の2日間の日程で開催します。講座カリキュラムはNPO法人日本防災士機構の認定を受けており、講座終了後の防災士資格取得試験の受験資格を得られます。

また、試験合格後の防災士登録に必要となる「普通救命講習」(松本広域消防局主催)が9月12日、本学で開催されますので、受講希望の方はあわせてお申込みください。

開講日時: 10月8日・9日の2日間

会場: 松本大学5号館内教室

検定試験: 10月9日 講義終了後

**申込締切: 9月2日 定員(100名)になり次第締切**

**受講費用: 30,000円**(※本学学生、教職員は割引あり)

**【問い合わせ先】** 松本大学防災士講座事務局

TEL 0263-48-7200

## 「地域社会と大学教育」で公開講義を開講 ブライダル、ホスピタリティ精神の奥深さを学ぶ

「地域社会と大学教育」は、「松本大学の教育哲学」と「大学の学生支援体制」を知り、学生が大学生活の青写真を描けるよう、初年次教育の一環として開講されています。その内容は、①本学が立地する長野県や松本市の特長、学校法人松商学園の組織と「自主独立」の精神、本学設立の背景と「地域貢献」の理念の紹介。②地域連携を取り入れた本学独自の「帰納的教育手法」を、学科の特色を反映した具体例を用いて紹介。③「負荷を乗り越えるから、学生は育つ」という学生支援の理念とゼミや委員会、センターを中心とした「学生と教職員の距離が近い」支援システムの披露。④COCに

代表される地域活性化の取組とその考え方の理解。⑤「基礎教育」「国際交流」「地域づくり考房『ゆめ』」「健康安全」「教職」の各センターの機能を、⑥学部・学科の専門教育の特徴を各責任者が説明する。その他に、⑦ゲストによる公開講義を実施しており、今回はその一つを紹介します。

総合経営学部ではここ数年、短期大学部・小澤岳志専任講師の紹介で、東京から井上義則八芳園取締役を招聘しています。ブライダル系、優れた経営理念、チャレンジ精神、分かり易く感動的な講義の展開等が観光・経営系の学生に有意義であるとの理由からです。「来年度の入学生にもこの話は

聞かせてあげて!!」との要望も数多く、今年も例年と同じく、学生が目頭を熱くさせながら熱心に聴講していました。「こんな上司の下で働きたい」「ホスピタリティ精神の奥深さに感激した」「今後、前向きに考える!!」等が、受講票の感想欄に並びました。



今年は他のゲストとして、宇津木妙子、佐藤綾子、マキナリー浩子の各氏を予定しています。

(「地域社会と大学教育」講義担当 住吉 廣行)

# 教員の大切な使命である「研究」の成果報告

～平成27年度研究発表会が開催されました～

研究推進委員会 委員長 室谷 心

3月9日、10日の2日間、恒例の教員研究発表会が開催されました。学内競争的研究資金である学術研究助成に採択された研究を中心に、この一年間の教員の研究成果が講演発表されました。

近年、大学に期待される役割は多様化し、特にここ数年の日本では地方創生の合言葉の下に地域への貢献が前面に出ることが多くなりましたが、「研究」が高等教育機関である大学とそこに所属している大学教員とを特徴づける重要な活動であることに変わりありません。文化や科学、社会の発展に寄与するよう、日常の様々な考察を研究成果という形でまとめることは、研究を業務のひとつとする大学教員にとくに科せられた大切な使命だといえます。

今年度は理科系11件、人文・社会科学系6件、計17件の発表申し込みがあり、パラレルセッションの時間も含めて2日間にわたりました。生物学や経済学から子供の発達・発育の問題まで多岐にわたる様々な分野の研究が報告されました。いずれの発表も講演に続いて活発な質疑応答が行われ、参加者の意識の高さを感じさせる発表会でした。今年度報告された講演がさらに大きな成果に結実すること、そして次年度も今年度以上の実り豊かな研究成果が松本大学から上がることを確信しています。

## 発表内容一覧

研究課題	発表者
グローバル社会におけるサプライチェーン契約手法の現状と今後の展開	田中 正敏
スマホを活用した農業経営の経営情報戦略の構築	成 香政
持続可能なコミュニティを培う若者の参加と地域学習	向井 健
文化・生活・教育-乳幼児の発達について考える	藤枝 充子
地域における実践的マーケティング活動	金子 能呼
チェコ共和国の自転車振興政策とシクロツーリズム	益山代利子
園庭環境の違いが幼児の土踏まず形成に及ぼす影響について	中島 弘毅
高校サッカー選手の食生活と食事準備者(母親)の働き方との関連	大森 恵美
血液検査からみた高校硬式野球部員における望ましい体重増加量	石澤美代子
焙煎そばEXの物理化学的特性	矢内 和博
長野県松本市とその種変地域長野県松本市とその周辺地域で販売された豆腐における、遺伝子組換えダイズの網羅的混入状況調査	沖嶋 直子
相対論的ハドロン流体の異なった流れに誘導される輸送係数の計算	室谷 心
高脂質餌はキロショウジョウバエの老化、生殖、行動へ影響する	木藤 伸夫
個体差を理解するための骨格筋エピジェネティクス研究	河野 史倫
運動習慣はストレス誘発性海馬microRNA発現量に影響するか	川島 均
時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか?	浅野 公介
ZHX3とBRD2の相互作用メカニズムと生物学的意義の解析	羽石 歩美

## 平成28年度採択 科学研究費助成事業

### 食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ

大学院 健康科学研究科 廣田 直子 教授 ○期間:平成27年度～29年度

### 地域企業における国内・外事業の関連性にかかる研究

総合経営学部 兼村 智也 教授 ○期間:平成26年度～28年度

### インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析

大学院 健康科学研究科 高木 勝広 教授 ○期間:平成26年度～28年度

### 農村地域に生きる若者の「暮らしの再構築」と地域学習

総合経営学部 向井 健 専任講師 ○期間:平成27年度～28年度

### 宇宙滞在の影響を受けにくい体質をつくるための新規エピジェネティクス理論確立

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:平成28年度～平成29年度

### 運動効果獲得の個体差を理解するための骨格筋エピジェネティクス研究

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:平成28年度～平成31年度

### 地域社会での看取りはいかにして可能かーイタリアをフィールドとして

大学院 健康科学研究科 福島 智子 准教授 ○期間:平成28年度～平成30年度

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI

## 「自分の遺伝子型を調べてみよう～2016～」参加者募集

唾液から遺伝子(DNA)を取り出して、「お酒に強いかわ弱いかわ」・「基礎代謝が低いかわ高いかわ(太りやすいかわ否かわ)」・「短距離走者型かどうか」を判定します。3種類の遺伝子型と環境要因の関係に関する講演や各実験室の案内と機器の説明(ラボ探検)もあります。

※本プログラムは、日本学術振興会の事業の一環で開催します。

日時:平成28年8月27日(土) 9時30分～16時

会場:松本大学

担当教員:大学院健康科学研究科 教授 高木 勝広

対象:高校生20名(先着順)

受講料無料  
昼食つき

参加者氏名・学校名・学年・性別・連絡先住所・電話番号、調べてみたい項目1つを記載し、ハガキ、FAX、または電子メールで下記までお申し込みください。  
**8月22日(月)必着。**(学校で参加の場合は、代表者氏名・参加人数・住所・電話番号を明記)

【申込先】松本大学・総務課(担当:上野田)

Email:noriko.uenoda@matsu.ac.jp Tel:0263-48-7200(代表) Fax:0263-48-7290 住所:〒390-1295 松本市新村2095-1

## 研究室紹介

観光ホスピタリティ学科 専任講師  
向井 健

### 学生や地域住民とともに 生きた学びの場を創っていききたい

これまで私は、社会教育学を専門としてきました。一般に社会教育とは、「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動」(社会教育法)のことを指しますが、そうした教育活動の領域において生じる諸現象の論理を解明する学問が社会教育学であるといえます。そうした中で、私は、様々な困難を抱えた若者の自立支援実践の現場などをフィールドとしながら、「自らの人生の主人公になりゆく学習過程の解明とその援助のあり方」について研究を進めてきました。

私たちは、日々の暮らしの中で、時として、何らかの「困りごと」にぶつかってしまうことがあります。そうした時に自分ひとりで抱え込むのではなく、暮らしの課題解決に向けてみんなで学びあう場を組織しながら、それを「地域をつくる力」に変えていくことが求められています。社会教育の中心施設である公民館は(とりわけ長野県においては)身近な地域における学びの場を求める人々の願いの中から生み出されたものでした。しかし、現在、行財政改革の流れの中で、そのような学びの場の多くが「危機」に瀕しています。ですが、地域の人間関係が希薄化している現在ほど、地域の課題を学びあえる場が必要とされている時はないのではないのでしょうか。そこで、改

めて、地域に生きる人々の暮らしの思いに分け入りながら、対話と協働を通して“生きた学び”の世界を創りあげてきた「社会教育の原点」に立ち返り、新たな学びの場を、現代的に再創造していくことができたらと考えています。

現在、私たちの研究室で取り組む様々な地域活動(上土や巾上でのまちづくり等)は、地域において生きた学びの世界を拓いていく試みでもあるように

思います。かつて私が社会教育学を学び始めた頃、地域課題に向き合う地域の大人たちの姿は、他者や社会に対する信頼を取り戻してくれるものでした。確かに、大学時代は色々と悩むことも多い時期ですが、研究室の学生たちには、地域での活動を通して、他者や地域との出会い直し、自分自身の生き方について深く問い返していくような学びを味わってもらえたらと考えているところです。



「社会活動」で酒粕を活用した商品開発に取り組む

北海道大学大学院教育学院博士後期課程の後、2015年4月より現職。教育学修士。○専門分野:社会教育学(社会教育実践論、成人学習論)/地域福祉論 ○研究課題:コミュニティを基盤とした自立支援実践の分析/「人が育つ」コミュニティをつくる学びの論理の解明

## 》美ヶ原で高地トレーニング実習

スポーツ健康学科 教授 江原 孝史

キャンパスを飛び出し  
地域で学ぶ!

out campus study

### アウトキャンパス・スタディ

松本大学から東の方に目をやるといびつな台形に近い独特の姿をしてそびえたつ美ヶ原が見えます。日本百名山の一つです。スポーツ健康学科



の運動適応論の実習では、美ヶ原への日帰り登山を行っています。講義で低酸素の体へ及ぼす影響や高地トレーニングについて学んだあとに行きます。学生時代には多くの山に登ってもらいたのですが、山が近くにある松本で学びながら登山の体験がない学生も多いため、この実習がきっかけになればいいと思います。特に養護教諭を目指す学生は、将来学校登山に同伴することも多いことから必要な実習になります。

最高地点の王ヶ鼻の標高が2034メートルで、酸素も薄くなります。そこで、動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)と脈拍を測定します。この程度の標高では高山病になる人はほとんどいません。平地に比べ、SpO<sub>2</sub>は少し下がりますが、ほとんど下がらない学生もなかにはいます。コース自体は三城から広木場を経て百曲がりコースの登りという小学校の学校登山でも行われるコースで、いわば山の入門コースです。塩くれ場まで1時

間ちょっとで着き、そこからは平らな道で、放牧されている牛を眺めながら王ヶ鼻近くのホテルに着いたら昼食です。2000メートルを超えたところでは、気温も平地と比べぐっと低くなり長袖が必要になり、これ一つの経験になります。下山は違うルートをとります。

現在は日帰りですが、将来は、燕岳や常念岳など中学レベルの学校登山にも対応できるようなもっとグレードの高い山に登るプログラムにしてゆきたいと考えます。5月から7月の週末を選んで行きますが、各種の大会や遠征と重なることも多くなかなか全員参加というわけにいかないのが悩みの種です。経験を積んで将来は実際の高地トレーニングが行えるようになるとよいと思っています。

# 新年度の始まりにあたって

松本大学・松本大学松商短期大学部 学長 住吉 廣行

## 激動を予感させる 県内高等教育の状況

今年度から2期目の学長職を拝命しています。新しい年度が始まりますが、長野県内でも公立大学化、看護系学部の新設構想、薬科大学の誘致構想など百花繚乱の状況で、これまで遅れていた県の高等教育



育政策のつけが、ここに来て一気に吹き出しています。

こうした中でどの大学も危機意識を高めており、いよいよ本当の実力が試される事態へと移行しています。どんな状況になっても盤石の経営基盤を構築するために、「地域の将来を担う有為の人材を育成する、優れた教育活動を地域と連携して展開する大学」としての評価を揺るぎないものにするのが求められています。

## 全国の元気な大学は、 生き残りを賭けて動いている

実際にこれを実現するのは、そこに働く「教員や職員の教育への情熱」と「迎え入れた学生達のやる気・向上心」以外にはありません。こうした教育システムをどのように構築し、その成否をいかに検証していくのかが、全国の高等教育機関におけ

る共通の課題となっています。どの大学がその先陣を切るのか、競争的資金とも関連して、やる気を出している大学とそうでない大学との差がどんどん広がるといふ分岐点にさしかかっています。これまで各種GP、COC等に見られるように、何事にも先駆的に取り組んで来た本学においても、のんびりとはしてられない正念場にあるという認識が必要です。

## 大学改革をめぐる、 管理運営体制

ここで問題となるのが、トップダウンの管理体制を採用するのか、ボトムアップ方式かという点です。最近多くの大学ではトップダウン方式でこの難局を切り抜けようとしています。本学は、全学委員会、全学協議会という「意思決定機関」と管理職からなる全学運営会議という「日常の運営に責を負う組織体」を採用し、討議を尽くし迅速な決定をするという独自の方式を採用しています。この意味では、管理職層の状況認識に対するアンテナの高さと各教職員の組織的且つ個人の能力を十分に発揮した活躍が欠かせません。

平成28年度

## 人事短信

- **学長** 住吉 廣行
- **副学長** 等々力賢治  
室谷 心  
山添 昌彦
- **大学院健康学科研究科**  
研究科長 山田 一哉
- **総合経営学部**  
学 部 長 増尾 均  
学科長(総合経営) 矢崎 久  
学科長(観光ホスピタリティ) 尻無浜博幸
- **人間健康学部**  
学 部 長 等々力賢治  
学科長(健康栄養) 廣田 直子  
学科長(スポーツ健康) 根本 賢一
- **短期大学部**  
学 部 長 糸井 重夫  
学科長(商) 山添 昌彦  
学科長(経営情報) 浜崎 央
- **管理部門**  
全学協議会議長 等々力賢治  
自己点検・評価委員長 住吉 廣行  
人権委員長 増尾 均

- 健康安全センター運営委員長 江原 孝史  
施設管理センター運営委員長 柴田 幸一  
危機管理委員長 尻無浜博幸
- **入試広報部門**  
入試委員長 山田 一哉  
広報委員長 山田 一哉  
高大連携推進委員長 山添 昌彦  
センター入試委員長 矢野口 聡
- **研究推進及び管理部門**  
研究推進委員長 室谷 心  
研究倫理委員長 山田 一哉
- **学生センター部門**  
教務委員長 等々力賢治  
教育改善推進委員長 山添 昌彦  
教職センター運営委員長 川島 一夫  
図書館運営委員長 伊東 直登  
情報センター運営委員長 浜崎 央  
国際交流センター運営委員長 糸井 重夫  
地域健康支援ステーション運営委員長 廣田 直子  
地域づくり考房「ゆめ」運営委員長 廣瀬 豊  
学生委員長 矢崎 久  
就職委員長 根本 賢一  
地域連携(COC)戦略会議議長 木村 晴壽
- **大学事務局**  
大学事務局長 柴田 幸一

- 総務課長 赤羽 研太  
管理課長 赤羽 雄次  
入試広報室長 中村 文重  
学生センター長・教務課長 丸山 勝弘  
学生課長 田中 雅俊  
キャリアセンター課長 中村 高士  
情報センター課長 松尾 淳彦  
地域づくり考房「ゆめ」課長 臼井 健司
- **法人事務局**  
法人事務局長 小倉 宗彦  
総合企画部人事課長 兼 経理課長 横山 文博

## 新任者

### <専任教員>

- 人間健康学部スポーツ健康学科 教授 岸田 幸弘
- 松商短期大学部商学科 教授 伊東 直登
- 人間健康学部健康栄養学科 嘱託専任助手 塚田 晃子

### <職員>

- 女子ソフトボール部コーチ 赤澤 信二
- 男子サッカー部コーチ 参沢 篤

### <異動>

- 国際交流センター専門員 續 美穂  
(松本秀峰中等教育学校から転入)

# 就任あいさつ

## 地域とともに人材育成

総合経営学部 学部長 増尾 均

このたび総合経営学部の学部長に就任いたしました増尾均です。思い起こせば、前任校から本学に着任して既に10数年の月日が流れました。着任当時は四年制の学部は未だなく、松商短期大学に籍を置かせていただきました。その頃と比べて、本学は大きく発展いたしました。社会および高校生のニーズも大変変わってきたように思います。



今日注目されている実践教育は、総合経営学部では設置当初からアウトキャンパス・スタディと称して行っていました。今では複数のゼミが合同で行う横断的なプロジェクトとして実施したり、地域と連携して学生を育てつつ、かつ地域振興にも取り組むプロジェクトなど、多様な試みがなされています。私もこの教育に強い魅力を感じ、日々学生たちと活動しています。今後、総合経営学部の先生方のみならず職員の方々とともに学部の理念に沿った教育に励み、本学部の一層の発展に寄与したいと考えております。

## 時代と地域が求める教育改革の推進

松商短期大学部 学部長 糸井 重夫

4月より松商短期大学部の学部長に就任いたしました。ここ数年、短大を取り巻く環境は大きく変化し、短大教育のあり方が問われる時代になってきました。この間、本学は、時代の変化に対応しつつ、地域企業や地域社会が求める人材育成のため、「フィールド・ユニット制」の導入や“コンピテンス(汎用的能力)”育成を柱とした教育など、様々な改革を実施して参りました。



わが国の短大志願者数は、少子化と四年制大学希望者の増加等により、年々減少してきています。しかしながら、地方にあっては、地域社会の中核的人材育成機関として短大が高い評価を受けているのも事実です。また、短大教育には、職業と密接に関連した実践的な知識・技能の修得や、職業生活・社会生活において必要とされるコンピテンスの育成など、四年制大学や専門学校とは異なる優れた特色があります。そこで、このような実践的で社会生活に有用な短大教育をより一層充実させるべく、地域社会と連携しながら本学の教育改革を進めていきたいと考えています。

## お互い尊重しあう文化づくりを

観光ホスピタリティ学科 学科長 尻無浜 博幸

観光ホスピタリティ学科は今年で11年目を迎えます。このたび、四代目の学科長に就任いたしました。微力ながら、次の10年へ繋ぐ



働きをしたいと考えております。何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

新年度4月1日に学科会を開きました。本学科を取り巻く状況は、厳しい環境にあることを学科の先生方と認識し、その中でも、お互い尊重しあう文化づくりに努めることを申し合わせた次第です。本学科は、「観光」「地域」「福祉」が三本柱です。次の10年もこの三つのくさびをしっかりと打ち込むところから始めます。

## 新たな魅力の創出を目指して

松商短期大学部 商学科 学科長 山添 昌彦

全国の私立四年制大学の4割、私立短期大学の6割が定員割れとなり、ことさらに地方の大学・短大にとっての学生確保は容易ならざる



状況にあります。長野県の状況もまたしかり。2015年3月末の長野県の高校卒業生18,887名のうち、進学者は四大7,352名、専門学校4,197名、短大1,713名であり、就職者は3,443名でした。専門学校や就職という進路選択と比較した短大進学率の低調さが窺い知れる数字(短大進学率9.1%)です。この厳しい状況の中で本学が今後10年、20年と継続していくべく、本学ならではの新たな魅力の創出が急務となっています。新学部長のもと、商学科長として全力を尽くす所存です。

## 自由度の高いカリキュラムを実現

松商短期大学部 経営情報学科 学科長 浜崎 央

このたび経営情報学科の学科長に就任いたしました。これまでも本短大では、地域に根ざし、地域に貢献できる人材の育成を目標



に、様々な改革に取り組んで参りました。そのような中、私は、主に教務面での業務に取り組み、カリキュラムや履修制度についての改革に力を入れてきました。今後も、本短大では、自由度の高いカリキュラムの実現のため、4学期制を視野にいれた改革を進めようとしています。教職員の方々の協力を仰ぎながら、教務面を中心に、微力ではありますが力を発揮したいと考えています。

# 大学生が平和の構築を目指す

## 「松本ユース平和ネットワーク事業」が活動

観光ホスピタリティ学科 学科長・教授 尻無浜 博幸

大学生、平和を学ぶ ― 5月26日に、非核宣言をしている自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会の研修会が松本市で開かれ、松本大学と信州大学の学生7人でつくる「松本ユース平和ネットワーク」が、田上富久長崎市長と菅谷昭松本市長と平和トークを展開し意見を交わしました。折しも翌27日にオバマ大統領の広島訪問を控え、非核の世界、平和な世界をどうつくるのかの話題が尽きないタイミングでありました。

「松本ユース平和ネットワーク」は、松本市からの依頼で、松本に住む若者を中心に平和の構築を目指したいという目的で事業化されたものです。被爆地でない松本から平和の思いを発信することは極めて意義深く、そこには若者の力は不可欠であるとの認識から取り組みがスタートしました。

この日の研修会で、松本大は予め松本市文書館を訪れて松本の戦時下の様子を調査していたので、その内容を発表し、信大は、主にこれまで学校でどのように平和

を学んできたのかを整理して両市長につけました。田上市長からは、核兵器がどんなものかを知ることの大切さと、平和をつくるために被爆地当事者として取り組んできた内容が伝えられました。地元、長崎大学の学生が現在、どのような活動をしているかの説明も付け加えられました。菅谷市長からは、チェルノブイリ原発事故の被災地医療活動の経験から、核兵器が人体にもたらす影響の指摘がありました。

研修会の席上、田上市長は学生に対して、松本大の発表はローカルな視点に立ち、信大の発表はグローバルな視点に立った内容で、今まさに両方の規模でどう平和を構築するかを考えないといけないと助言されました。一方、学生たちは、自分たちにも

できることとし、①知ること②声を出すこと③繋がること④平和をつくることのプロセスが大きくヒントになったようです。私はこの日、コーディネーターを務めましたが、「『平和を創るまち』松本」を目指して、ここに集められた学生がまず力を合わせて取り組んでいきたいとまとめました。今後も、松本ユース平和ネットワークとして活動していく予定です。



研修会で意見発表をした本学の学生

## 本学の学生2人が中学生を救護

6月11日、松本市役所近くの交差点で、市内の中学校に通う男子生徒が自



高村さん(左)と奥村さん

転車事故で転倒したところに、本学スポーツ健康学科3年生の高村香帆さんと奥村真紀子さんが偶然通り掛かり、適切な処置を行いました。男子生徒の脚に自転車のスタンドが刺さった状態で出血し始めたため、すぐに救護を開始。自分の着ていた服を脱いで止血を行い、近くにいた生徒には「傷を見ない方がいいよ」と声をかけ、救急車を呼び、保護者に連絡を取りました。救急搬送された後も、警察官の事情聴取に応じるなど最後まで責任のある行動をとったそうです。翌週になって中学生と保護者が大学へお礼に訪れてくださり、大学の知るところとなったわけです。「授業で習っていますから」と本人た

ちは謙遜していましたが、なかなか大人でも出来ることではありません。

後日、2人には保護者からの謝礼を住吉廣行学長から渡していただきました。高村さんは「安全救急法の講義を受講していたので、慌てず冷静に対応できた。知識が役立って本当に良かった」、奥村さんは「救急車を呼んだときに、落ち着いて場所が説明できた」と振り返っていました。また、2人が所属するゼミの齊藤茂専任講師は、「普段から正義感のある学生。2人のとった行動をたたえたい」と話しました。

松本大学には、こうした勇気のある優しい学生がいることを大変頼もしく思います。改めて2人にお礼を述べたいと思います。

(学生課長 田中 雅俊)

# 新たな生活への期待を胸に

— 平成27年度学位授与式・平成28年度入学式 —

春の陽ざしが降りそそぐ3月18日、平成27年度学位授与式を執り行いました。大学院健康科学研究科4名、総合経営学部167名、人間健康学部176名、松商短期大学部201名の計548名がそれぞれの希望を胸に学び舎を飛びたちました。

修了生・卒業生を代表して総合経営学部観光ホスピタリティ学科の佐々木裕子さんが、東日本大震災で被災した石巻の小学生への学習支援活動を「ボランティア活動で



の、輝かしい瞳を持つ子供たちとの出会いは、私にとっては忘れられない大きな財産となり、今でも心の中に残っています。」と振り返るとともに、学友会長の経験から「時には辛く感じたこともありましたが、素晴らしい仲間恵まれ、最後までやり遂げることができました。人を楽しませる喜びや達成感、また学友会行事に参加してくれた、たくさんの仲間たちの最高の笑顔を見ることができ、卒業しても一生忘れることがない経験です。」とあいさつしました。

また4月5日には平成28年度入学式を挙行し、大学院健康科学研究科10名、総合経営学部219名、人間健康学部187名、松商短期大学部235名の計651名が満開の桜に迎えられて門をくぐりました。

新入生代表の人間健康学部健康栄養学科・小沢瑞希さ



さんは、管理栄養士としての知識に加え、4年間で身につけたい力として「どんな状況にでも対応できる『適応力』と、『他者を理解する力』」をあげ、「私たちは与えられたことをただこなし満足するだけでなく、さらに視野を広げ、新たなことに挑戦する力が社会から求められると思います。そのために、この4年間で様々なことに挑戦し、多くの体験を通し、どんな状況にでも対応できる力を養いたいと思います。また、人は自分の力だけではなく、様々な人の支えがあって成り立っています。社会に出て大切なことは、人とのつながり、人に信頼されることだと思っています。そのためには、他者が何を考え、何を必要としているのか、自分自身が他者の立場になって考え、理解する力を身につけたいと思います。」と決意を述べました。

(総務課長 赤羽 研太)

## 2016年度入学試験の状況

2016年度入試では、総合経営学部、人間健康学部、松商短期大学部の全学部・全学科において、入学定員を充足することができました。総合経営学部総合経営学科では開学以来もっとも高い入学定員充足率(約1.4倍)となり、また前年度に入学定員を満たすことのできなかつた短期大学部でも、入学者数が回復し入学定員を充足するなど、大変喜ばしい結果となりました。

競争率を見ても、総合経営学科1.55倍、観光ホスピタリティ学科1.47倍、健康栄養学科1.41倍、スポーツ健康学科1.62倍と、いずれも前年度よりも高くなっており、これまでも増して優秀な学生を選抜できたと考えております。

2017年度の学生募集でも、この状況を維持することはもちろんのこと、これ以上の結果を目指して取り組んでまいります。

(2015年度入試委員長 上野 隆幸)

### ■ 松本大学大学院[修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	10	10	10	100.0%	10	10	166.7%
合計		6	10	10	10	100.0%	10	10	166.7%

※留学生を除く

### ■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	80	230	229	148	154.7%	114	114	142.5%
	観光ホスピタリティ	80	167	165	112	147.3%	100	100	125.0%
	小計	160	397	394	260	151.5%	214	214	133.8%
人間健康	健康栄養	80	203	198	140	141.4%	83	83	103.8%
	スポーツ健康	80	196	195	120	162.5%	103	103	128.8%
	小計	160	399	393	260	151.2%	186	186	116.3%
合計		320	796	787	520	151.3%	400	400	125.0%

※留学生を除く

### ■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	10	3	3	3	100.0%	3	3	30.0%
	観光ホスピタリティ	10	1	1	1	100.0%	1	1	10.0%
	小計	20	4	4	4	100.0%	4	4	20.0%
人間健康	健康栄養	5	5	4	1	400.0%	1	1	20.0%
	スポーツ健康	10	0	0	0		0	0	0.0%
	小計	15	5	4	1	400.0%	1	1	6.7%
合計		35	9	8	5	160.0%	5	5	14.3%

※留学生を除く

### ■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	120	120	133	90.2%	122	122	122.0%
	経営情報	100	146	145	119	121.8%	113	113	113.0%
	合計	200	266	265	252	105.2%	235	235	117.5%

※留学生を除く

# 卒業生の進路

平成27年度の就職内定率(就職希望者に対する内定者の割合)は、大学・短大全体で99.2%と昨年度をさらに上回る良い結果となりました。今後も学部学科とキャリアセンター、さらに企業とも連携し、充実した就職支援を行ってまいります。

各学部卒業生の進路状況についてまとめます。

## 総合経営学部

**就活生一人ひとりに対するよりきめ細かな就職支援を目指して!**

平成27年度、日本経済においては足踏み状態からなかなか抜け出せない状態ではあったものの、雇用市場は緩やかに回復局面をみせ、このような経済環境の中で、総合経営学部卒業生の就職率は99.3%(総合経営学科100.0%・観光ホスピタリティ学科98.5%)で、平成26年度の96.5%と比べると2.9ポイント上昇する良い結果となりました。また、地域企業等のさまざまニーズに応える形で、建設業、金融・保険業、卸・小売業、製造業、サービス業、飲食・宿泊業、福祉・介護業など就職先が多様になっています。とくに農業協同組合をはじめとする複合サービス業への就職が大幅に増えたことに大きな特徴が見られました。

(就職委員会 総合経営学部主任 成 者政)

## 人間健康学部

**専門的な学びや取得資格を生かした就職先へ**

平成27年度の本学部における就職内定率は98.2%となり、開学部以来、継続して高い数字を維持しています。健康栄養学科では、栄養士・管理栄養士として就職する学生は約40%でした。近年では、管理栄養士資格を付加価値とした食品や健康増進分野等への就職を希望する学生も増えており、多くの学生が学びを生かした進路を選択していると言えます。また、スポーツ健康学科における専門職種(運動指導や教員等)への就職率は30%を超えており、全国の体育系大学の関連分野への就職率2割未満という数字と比して高い割合であると言えます。

(就職委員会 人間健康学部主任 齊藤 茂)

## 松商短期大学部

**キャリアセンターや教員による手厚い個別指導が結実**

松商短期大学部では、平成27年度卒業生の就職率が99.5%と、リーマン・ショック以降最高の数値で学生を社会に送り出すことができました。就職選考会解禁が8月に後ろ倒しとなり学生の負担増加が懸念されましたが、地域企業の旺盛な採用意欲に加え、キャリアセンターやゼミナール教員による手厚い個別指導をさらに充実させたことがこのような好結果に繋がったと考えています。今後も、保護者をはじめ地域企業と連携を深めながら、学生支援により一層力を注ぐ所存です。

(就職委員会 短期大学部主任 木下 貴博)

## 大学院 健康科学研究科

**本学の助手に採用!**

健康科学研究科を、今春4名の院生が修了しました。今回はその中の1名が人間健康学部健康栄養学科の助手として初めて採用されました。これまで研究機関に修了生が就職しておりますが、今後も研究者としての彼らの活躍に期待しています。

(大学院 就職委員 根本 賢一)

# 総合経営学部

進路別		計
就職	職	153
進学	学	3
進路未決定		1
家 居・その他		10
合 計		167

### ▼総合経営学科就職先一覧

産業分類	企業名	計	
建設	サンテック(株)	1	
	セキスイハイム信越(株)	1	
	(株)アルプスピアホーム	1	
	(株)エース・リフォーム	1	
	(株)ヤマワラ	2	
	(株)村瀬組	1	
	長野機材(株)	1	
	(株)ボテトデリカ	1	
	(株)デイズーはやしや	1	
	フレックスジャパン(株)	1	
製造	エア・ウォーター・マッハ(株)	1	
	サン工業(株)	1	
	(株)東陽	1	
	山洋電気テクノサービス(株)	2	
	東洋計器(株)	1	
	白東光学(株)	1	
	日本電熱(株)	1	
	武蔵工業(株)	1	
	野村ユニオン(株)	1	
	(株)松澤製作所	1	
情報通信	八十二システム開発(株)	1	
	エヌ・エス・ケイ(株)	1	
卸売・小売	トライアーン(株)	1	
	ブリヂストンタイヤ長野販売(株)	1	
	リコージャパン(株)	1	
	岡野薬品(株)	1	
	(株)エフケーケー	1	
	(株)エム・イー	1	
	(株)ジゲン	1	
	(株)日本シールボンド	1	
	皮平コーポレーション(株)	1	
	中日本メテカルリンク(株)	1	
卸売・小売	長野三菱電機機器販売(株)	1	
	南信ヤクルト販売(株)	2	
	トヨタグループ	1	
	トヨタカローラ南信(株)	3	
	マックスバリュ長野(株)	1	
	(株)アップランド	3	
	(株)イデアール	2	
	(株)ココカラファインヘルスケア	1	
	(株)ツルハ	1	
	(株)ツルヤ	2	
卸売・小売	(株)ニシザブ	1	
	(株)ノジマ	1	
	(株)モリキ	1	
	(株)ユニコロ	1	
	(株)伊藤商会	1	
	(株)一貫堂	1	
	(株)興和クリエイト	1	
	(株)和田正通信サービス	1	
	松本日産自動車(株)	1	
	長野いすゞ自動車(株)	1	
金融・保険	長野ダイハツ販売(株)	1	
	(株)長野銀行	1	
	山梨県民信用組合	1	
	(株)ミニミニ	1	
	林一樹法律事務所	1	
	生活関連サービス	Dining Bar 縁	1
		三菱(株)	2
		(株)三商商事	1
		(株)サンクローン甲信越	1
		(株)巴屋	1
(株)アステック信州		1	
複合サービス事業		長野県高等学校教諭	1
		グリーン長野農業協同組合	1
		塩尻市農業協同組合	2
		松本ハイランド農業協同組合	1
	上伊那農業協同組合	1	
	大北農業協同組合	1	
	中野市農業協同組合	1	
	日本郵便(株)	2	
	(株)井筒屋	1	
	日本連合警備(株)	1	
公務	(株)パワネット・フィールド	1	
	(株)フロンティア・スピリット	1	
	(株)信州ウエイスト	1	
	茨城県庁(臨時)	1	
	計		89

就職内定率

**99.3%**

(就職内定者153人/就職希望者154人)

### ▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

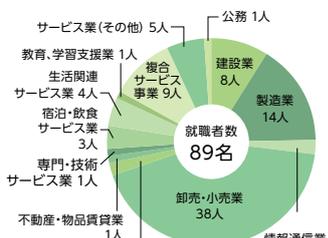
産業分類	企業名	計
建設	セキスイハイム信越(株)	1
	(株)アルプスピアホーム	1
製造	(株)橋本	1
	(株)若野商会	1
卸売・小売	(株)村瀬組	1
	セントラルパック(株)	1
製造	三洋グラフィック(株)	1
	(株)ちくま精機	1
卸売・小売	野村ユニオン(株)	1
	(株)ライト光機製作所	1
卸売・小売	長野精工(株)	1
	サンリン(株)	1
情報通信	松本システム開発(株)	1
	(株)シー・エス・イー	1
運輸	アルピコ交通(株)	1
	NCC(株)	1
卸売・小売	リコージャパン(株)	1
	(株)カクヤス	1
卸売・小売	(株)越前屋	1
	(株)大和	1
卸売・小売	昭和電機産業(株)	1
	中村工機(株)	2
卸売・小売	ナガノコミュニケーションズ販売(株)	1
	(株)アップランド	1
卸売・小売	(株)ツルハ	1
	(株)トップカルチャー	1
卸売・小売	(株)おとしや薬局	1
	(株)ニシザブ	1
卸売・小売	(株)モリキ	1
	(株)井上	1
不動産・物品賃貸	(株)大阪屋ショップ	1
	(株)長野県Aコープ	1
不動産・物品賃貸	関東三菱自動車販売(株)	1
	(株)アクティオ	1
不動産・物品賃貸	(株)サンコーレンタル	1
	(株)ホテルニューステーション	1
宿泊・飲食サービス	お宿なごみ野	1
	(株)東急リゾートサービス	1
生活関連サービス	エプソン日新トラベルソリューションズ(株)	1
	(株)アステック信州	2
生活関連サービス	(株)エイ・アイ・エス	1
	(株)ダスキン諏訪	1
教育・学習支援	(株)共和コーポレーション	1
	長野県立中学校教諭(臨時)	1
医療・福祉	医療法人研成会諏訪湖野病院	1
	戸田中央医療グループ	1
医療・福祉	社会医療法人抱生会丸の内病院	1
	長野医療生活協同組合長野中央病院	1
医療・福祉	メディカル・ケア・サービス(株)	1
	社会福祉法人ハインズライフ	1
医療・福祉	社会福祉法人山形村社会福祉協議会	1
	社会福祉法人真育会	1
医療・福祉	社会福祉法人池田町社会福祉協議会	1
	社会福祉法人平成会	2
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1
	塩尻市農業協同組合	1
公務	松本ハイランド農業協同組合	1
	日本郵便(株)	1
公務	松本市役所(嘱託)	2
	長野県警察	1
計		64

### 進学先一覧

学校名	計
上越教育大学大学院	2
松本調理師製菓師専門学校	1
計	3

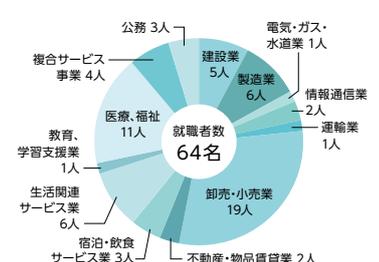
## 総合経営学科

### ■就職先の業種別人数



## 観光ホスピタリティ学科

### ■就職先の業種別人数



# 人間健康学部

進路別	計
就職	166
進学	5
進路未決定	2
家居・その他	3
合計	176

## ▼健康栄養学科就職先一覧

産業分類	企業名	計
製造	㈱サンクゼール	1
	㈱アライーほやしや	1
	㈱ホーライ	1
	㈱マツイフーズ	1
	㈱みずぎコーポレーション	3
	㈱小野酒造店	1
	㈱日本レストランエンダプライズ	2
	長野興農協	1
	南信州菓子工務㈱	1
	日本ミクロ㈱	1
卸・小売	鈴与商事㈱	1
	南信ヤクルト販売㈱	1
	(有)林薬局	1
	ワエルシアホールディングス株式会社	2
	㈱カワチ薬品	3
	㈱クスリのオオキ	1
	㈱クスリのサンロード	1
	㈱コウスケヤ	1
	㈱ソルヤ	4
	㈱パロー	2
宿泊・飲食サービス	㈱マツモトキヨシ	1
	㈱マツモトキヨシ甲信越販売	1
	㈱モリキ	2
	㈱飯島商店	1
	甲斐白産自動車㈱	1
	㈱松屋フーズ	1
	㈱トリドール	1
	㈱斎藤ホテル	1
	㈱セブン&アイ・フードシステムズ	1
	シダックス㈱	1
生活関連サービス	㈱アリクックちくま	1
	㈱ニールケア	5
	㈱メフォス	2
	㈱日本フードリンク	3
	白濁医療食品㈱中部支店	8
	日本ゼネラルフード㈱	2
	富士産業㈱長野事業部	4
	J.A.長野厚生連新町病院	1
	戸田中央医療グループ	1
	医療法人心泉会上條記念病院	1
医療・福祉	J.A.長野厚生連北信総合病院(臨時)	1
	社会福祉法人よしみ会	1
	社会福祉法人れんげ福祉会	1
	松本ハイランド農業協同組合	1
	大北農業協同組合	1
	日本郵便㈱	2
	埼玉県市役所(嘱託)	1
	計	77

## 進学先一覧

### ▼健康栄養学科

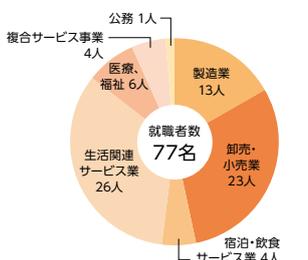
学校名	計
松本大学大学院健康科学研究科	1
計	1

### ▼スポーツ健康学科

学校名	計
松本大学大学院健康科学研究科	3
上越教育大学大学院	1
計	4

## 健康栄養学科

### ■就職先の業種別人数



## 就職内定率

# 98.8%

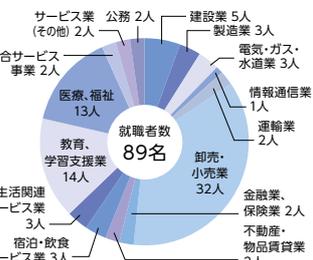
(就職内定者166人/就職希望者168人)

## ▼スポーツ健康学科就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	㈱アストロ電機	1
	㈱岡谷組	1
	鹿島建設	1
	長野機材㈱	1
	北野建設㈱	1
	㈱ハイライト	1
	㈱日進製作所	1
	㈱ハーモ	1
	長野都市ガス㈱	1
	伊丹産業㈱	2
製造	ネクストリンク㈱	2
	アルピコ交通㈱	1
	佐川急便㈱	1
	サントリービバレッジサービス㈱	2
	プリダストライバ信州販売㈱	2
	リコージャパン㈱	1
	岡野薬品㈱	1
	㈱デンセン	1
	㈱ドームヒューマンキャンパス	1
	㈱マルニシ	1
㈱国興	2	
㈱小泉中部	3	
㈱長印	1	
高山理化精機㈱	1	
昭和電機産業㈱	1	
松本ノーザン㈱	1	
坂平コーポレーション㈱	1	
長野スリーポンド㈱	1	
(有)柳澤モーターズ	1	
トヨタリグループ	1	
㈱イデアル	2	
㈱ウオロク	1	
㈱クスリのサンロード	1	
㈱ツルハ	1	
㈱ツルヤ	1	
㈱フェイス	1	
㈱興和クリエイト	1	
生活協同組合コープながの	1	
長野日産自動車㈱	1	
金融・保険	㈱八十二銀行	1
㈱長野銀行	1	
不動産・物品賃貸	㈱リグラス	1
㈱アクティオ	1	
宿泊・飲食サービス	㈱ファインシステムズ	1
㈱サイゼリヤ	1	
㈱マックアース	1	
生活関連サービス	㈱日本体操研究所	1
TOYBOX	1	
㈱the BIRTH&days	1	
教育・学習支援	長野県立小中学校(臨時)	4
長野県立中学校(臨時)	1	
山梨県立高等学校(臨時)	1	
信州大学教育学部附属松本小学校(臨時)	1	
長野県立波田学院	1	
学校法人信学会	5	
㈱長電エミミングスクール	1	
医療法人研究会諏訪湖畔病院	2	
戸田中央医療グループ	2	
社会医療法人指生会丸の内病院	1	
NPO法人アルヴィズ・ダイホーム機構	1	
㈱インターネットインフィニティ	1	
社会福祉法人サンライフ/サンビジョン	1	
社会福祉法人恵久会	1	
社会福祉法人恵和会	1	
社会福祉法人興訪福祉会	1	
社会福祉法人平成会	2	
複合サービス事業	J.A.全農岡山県本部	1
大北農業協同組合	1	
サービス(その他)	(社)松本市医師会	1
㈱オフィショウ	1	
伊那市役所(臨時)	1	
富山県東部消防組合	1	
計	89	

## スポーツ健康学科

### ■就職先の業種別人数



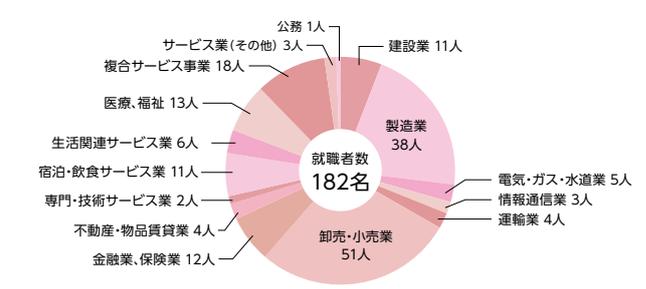
# 松商短期大学部

進路別	計
就職	182
進学	7
進路未決定	1
家居・その他	11
合計	201

## ▼就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	あったか子育て応援住宅㈱	1
	松田・南信㈱	1
	(有)百瀬特殊土木	1
	㈱片桐建設	2
	㈱サンジュニア	1
	セキスイハイム信濃㈱	1
	㈱アストロ電機	1
	㈱村瀬組	1
	カガミグループ	1
	㈱アスピア	1
製造	㈱ビッパルスコーポレーション長野	2
	㈱津貝屋	1
	㈱グルメリカ	1
	三洋プラビオ	1
	法興書籍印刷㈱	1
	㈱デザイン	1
	㈱ハイライト	1
	㈱ユニコン	1
	東北デクトロン㈱	1
	㈱ユウワ	3
オリンパス㈱長野事業場	1	
セイコーエプソン㈱	1	
㈱コシナ	1	
㈱サンコー	1	
㈱ダイシン	1	
㈱ちくま精機	1	
㈱ハーモニック・ドライブ・システムズ	2	
㈱栄光製作所	1	
㈱伸和精工	2	
三星工業㈱	1	
東洋計器㈱	4	
日東光学㈱	1	
武器工業㈱	1	
ルビコン㈱	2	
㈱ニースタン	2	
㈱シンエイ・ハイテック	1	
トビコファスター工業㈱	1	
㈱長野セラミックス	1	
サンリン㈱	1	
㈱サイオン	1	
松本ガス㈱	1	
中部電力㈱	2	
情報通信	㈱電算オフィスオートメーション	1
㈱マイトロテック	1	
八十二システム開発㈱	1	
運輸	アルピコ交通㈱	1
伊那バス㈱	1	
千曲バス㈱	1	
大谷総業運輸倉庫㈱	1	
岡野薬品㈱	2	
㈱エフケー	2	
㈱ダイフ	1	
㈱タック	1	
㈱高島澤	1	
㈱林友	1	
昭和電機産業㈱	1	
新光商事㈱	1	
中日本メカニカルリンク㈱	2	
富国物産㈱	1	
㈱ウイル	1	
㈱マサヤスポーツ	1	
㈱林薬局	2	
コストコホールセールジャパン㈱	1	
トヨタカローラ南信㈱	2	
英・インターナショナル㈱	1	
㈱Dream Maker	1	
㈱アップランド	1	
㈱エムアツウ	1	
㈱カワチ薬品	1	
㈱ジャパンイマージョン	1	
㈱たちばな	1	
㈱ツルハ	2	
㈱ツルヤ	2	
㈱ディビッドグラフィック	1	
㈱トーション	1	
㈱とをしや薬局	1	
㈱パロー	1	
㈱ホンダカーズ信州	2	

## ■就職先の業種別人数



## 就職内定率

# 99.5%

(就職内定者182人/就職希望者183人)

## ▼就職先一覧

産業分類	企業名	計
卸売・小売	㈱モリキ	1
	㈱ロイヤルオートサービス	1
	㈱井上	2
	㈱甲信マツダ	1
	㈱長野ダイハツモーターズ	1
	㈱和田正博信サービス	1
	長野いすゞ自動車㈱	3
	長野日産自動車㈱	4
	㈱みずほフィナンシャルグループ	1
	㈱長野銀行	3
金融・保険	㈱八十二銀行	1
	松本信用金庫	1
	長野カード㈱	1
	長野県信用農業協同組合連合会	1
	㈱田川信用金庫	1
	あいあいニッセイ信和損害保険㈱(契約)	1
	㈱ニエーションファイナンシャル・コンサルティング	1
	富国生命保険(株)	1
	㈱オンテック	1
	㈱デンタイバンク	1
不動産・物品賃貸	㈱アクティオ	1
	㈱ながざんリース	1
	㈱グラフィック	1
	㈱小林会計事務所	1
	ホテル経井沢エレガンス	1
	㈱クア・アード・ホテル	2
	㈱上越観光開発	1
	㈱東横イン	1
	㈱夢科グランドホテル湯の瀧	1
	深志神社梅風園	1
生活関連サービス	炎火と地酒のたつじん	1
	中田製絲シルクホテル	1
	東洋観光事業㈱ホテルエナピスタ	2
	ファミリーヘアサロンレッツ	1
	㈱グレース	1
	㈱サンエイ	1
	松本浅間カントリークラブ㈱	1
	専科総合開発㈱専科カントリー倶楽部	1
	近江田屋	1
	J.A.長野厚生連上見高原病院	1
エス歯科クリニック	1	
国立大学法人信州大学医学部付属病院	1	
ロッキーマン歯科医院	1	
医療法人まさら歯科クリニック	1	
医療法人弘仁会輪南病院	1	
医療法人徳興会グループ	2	
山田医院	1	
社会福祉法人中穂労者医療協会松本立派病院	1	
社会福祉法人芹田福祉サービス	1	
㈱デイケア	1	
社会福祉法人梓の郷	1	
グリーン長野農業協同組合	1	
ちくま農業協同組合	2	
みなみ信州農業協同組合	1	
塩尻市農業協同組合	3	
松本ハイランド農業協同組合	4	
上伊那農業協同組合	1	
須高農業協同組合	1	
洗馬農業協同組合	1	
大北農業協同組合	1	
日本郵便㈱	2	
柏崎農業協同組合	1	
㈱信州ウェスト	1	
㈱フロンティア・スピリット	1	
UTエム㈱	1	
公務	1	
計	182	

## 進学先一覧

学校名	計
松本大学総合経営学部	3
岐阜女子大学文化創造学部	1
金城学院大学国際情報学部	1
國學院大学文学部	1
NEW ZEALAND LANGUAGE CENTERS	1
計	7

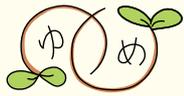
# 各種検定試験及び 資格取得試験受験状況

本学では、多数の検定試験及び資格取得試験についてサポートしています。平成27年度は、難関の行政書士1名、宅地建物取引主任者2名、総合旅行業務取扱管理者1名、ITパスポート4名、ファイナンシャル・プランニング2級総合2名等の合格者が出ました。また、各学科のカリキュラムにより、受験または取得可能な専門的な資格も多数あり、学科の学びや特性を活かして、積極的にチャレンジしています。(資格取得支援センター 松尾 淳彦・田嶋 哲也)



区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分		
			受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%
<b>日商簿記検定試験</b>																	
1 級	年2回	短大部	2	0	0.0%	Word		短大部	28	28	100.0%	2級総合	年3回	短大部	-	0	-
		大学部	0	0	0.0%			大学部	1	1	100.0%			大学部	-	2	-
2 級	年3回	短大部	31	2	6.5%	Excel		短大部	54	52	96.3%	2級学科	年3回	短大部	1	0	-
		大学部	2	0	0.0%			大学部	-	-	-			大学部	9	3	-
3 級	年3回	短大部	131	24	18.3%	Powerpoint		短大部	16	16	100.0%	2級実技	年3回	短大部	0	0	-
		大学部	12	1	8.3%			大学部	-	-	-			大学部	6	1	-
<b>ファイナンシャル・プランニング</b>																	
1級総合	年3回	短大部	-	8	-	1 級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3級総合	年3回	短大部	-	11	-
		大学部	-	0	-			大学部	0	0	0.0%			大学部	-	10	-
1級会計	年3回	短大部	21	8	38.1%	2 級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3級学科	年3回	短大部	39	17	43.6%
		大学部	0	0	0.0%			大学部	18	14	77.8%			大学部	25	10	40.0%
1級簿記	年3回	短大部	27	18	66.7%	<b>ビジネス文書検定試験</b>						3級実技	年3回	短大部	45	13	28.9%
		大学部	0	0	0.0%	2 級	年2回	短大部	18	13	72.2%			大学部	24	13	54.2%
2 級	年3回	短大部	17	12	70.6%			<b>宅地建物取引主任者</b>						大学部	-	-	-
		大学部	0	0	0.0%	3 級	年2回	短大部	40	32	80.0%	<b>総合旅行業務取扱管理者試験</b>					
3 級	年3回	短大部	99	96	97.0%			<b>サービス接遇検定試験</b>						年1回	短大部	-	-
		大学部	0	0	0.0%	準1級	年2回	短大部	0	0	0.0%	<b>国内旅行業務取扱管理者試験</b>					
<b>ITパスポート</b>								2 級	年2回	短大部	3	1	33.3%	年1回	短大部	-	0
基本情報技術者	年2回	短大部	-	-	-	3 級	年2回			短大部	0	0	0.0%		大学部	-	2
		大学部	-	4	-			大学部	8	7	87.5%	<b>販売士検定試験</b>					
<b>応用情報技術者試験</b>						準1級	年2回	短大部	1	1	100.0%	1 級	年1回	短大部	-	-	-
情報処理技能(表計算)検定試験	年4回	短大部	-	-	-			2 級	年2回	短大部	1			0	0.0%	大学部	-
		大学部	-	-	-	3 級	年2回			短大部	8	7	87.5%	短大部	0	0	0.0%
初 段	年4回	短大部	25	14	56.0%			<b>秘書検定試験</b>						2 級	年1回	短大部	0
		大学部	1	0	0.0%	準1級	年2回	短大部	-	-	-	大学部	5			1	20.0%
1 級	年4回	短大部	114	78	68.4%			2 級	年3回	短大部	4	2	50.0%	3 級	年2回	短大部	21
		大学部	68	55	80.9%	3 級	年3回			短大部	8	3	37.5%			大学部	26
2 級	年4回	短大部	117	95	81.2%			<b>色彩検定試験</b>						<b>第一種衛生管理者</b>			
		大学部	301	258	85.7%	2 級	年2回	短大部	0	0	0.0%	<b>健康運動指導士</b>					
3 級	年4回	短大部	39	38	97.4%			3 級	年2回	短大部	14	10	71.4%	<b>健康運動実践指導者</b>			
		大学部	3	3	100.0%	2 級	年2回			短大部	1	0	0.0%	<b>年1回 大学部: 26 20 76.9%</b>			
<b>情報処理技能(データベース)検定試験</b>								3 級	年2回	短大部	1	1	100.0%	<b>レクリエーション・インストラクター</b>			
1 級	年4回	短大部	6	5	83.3%	<b>アシスタントブライダルコーディネーターABC検定</b>						<b>レクリエーション・コーディネーター</b>					
		大学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	4	0	0.0%	<b>年1回 大学部: 1 1 100.0%</b>						
2 級	年4回	短大部	80	71	88.8%		<b>日本漢字能力検定</b>						<b>自然体験活動(NEAL)指導者</b>				
		大学部	0	0	0.0%	2 級	年3回	短大部	17	0	0.0%	<b>大学部: - 17 -</b>					
3 級	年4回	短大部	18	11	61.1%			準2級	年3回	短大部	8	1	12.5%	<b>フードスペシャリスト</b>			
		大学部	0	0	0.0%	3 級	年3回			短大部	6	3	50.0%	<b>年1回 大学部: 67 66 98.5%</b>			
<b>文書デザイン検定試験</b>								3 級	年3回	短大部	2	1	50.0%	<b>管理栄養士</b>			
1 級	年4回	短大部	24	22	91.7%	年3回	短大部			3	2	66.7%	<b>年1回 大学部: 76 53 69.7%</b>				
		大学部	0	0	0.0%		年3回	短大部	0	0	0.0%	<b>栄養士</b>					
2 級	年4回	短大部	18	15	83.3%	<b>保険請求事務技能検定試験(医科)</b>						<b>食品衛生管理者・食品衛生監視員</b>					
		大学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	69	50	72.5%	<b>大学部: - 56 -</b>						
<b>ホームページ作成検定</b>							年1回	短大部	4	2	50.0%	<b>高等学校教諭</b>					
1 級	年4回	短大部	42	36	85.7%	<b>診療報酬請求事務能力検定試験</b>						<b>一種(公民)</b>					
		大学部	29	23	79.3%	年1回	短大部	11	1	9.1%	<b>大学部: - 5 -</b>						
2 級	年4回	短大部	12	12	100.0%		<b>保険請求事務技能検定試験(歯科)</b>						<b>一種(地理歴史)</b>				
		大学部	31	29	93.5%	年1回	短大部	53	50	94.3%	<b>大学部: - 4 -</b>						
<b>日本語ワープロ検定試験</b>							年1回	短大部	-	-	-	<b>一種(福祉)</b>					
初 段	年4回	短大部	0	0	0.0%	<b>調剤報酬請求事務技能検定試験</b>						<b>一種(情報)</b>					
		大学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	38	34	89.5%	<b>大学部: - 3 -</b>						
1 級	年4回	短大部	21	8	38.1%		<b>医療事務コンピュータ能力検定試験</b>						<b>一種(商業)</b>				
		大学部	6	1	16.7%	年1回	短大部	0	0	0.0%	<b>大学部: - 4 -</b>						
準1級	年4回	短大部	44	12	27.3%		<b>メディカルマナー検定試験</b>						<b>一種(保健体育)</b>				
		大学部	8	3	37.5%	年1回	短大部	34	34	100.0%	<b>大学部: - 16 -</b>						
2 級	年4回	短大部	34	16	47.1%		<b>福祉住環境コーディネーター</b>						<b>一種(保健)</b>				
		大学部	27	14	51.9%	年1回	短大部	11	11	100.0%	<b>大学部: - 2 -</b>						
準2級	年4回	短大部	78	50	64.1%		<b>介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)</b>						<b>養護教諭</b>				
		大学部	66	45	68.2%	年1回	短大部	0	0	0.0%	<b>大学部: - 6 -</b>						
3 級	年4回	短大部	20	19	95.0%		<b>行政書士</b>						<b>栄養教諭</b>				
		大学部	44	37	84.1%	3 級	年2回	短大部	8	4	50.0%	<b>大学部: - 8 -</b>					
<b>産業界カウンスラー</b>								2 級	年1回	短大部	-	3	-	<b>司書教諭</b>			
						2 級	年1回			短大部	-	21	-	<b>大学部: - 21 -</b>			
								2 級	年1回	短大部	-	-	-	<b>社会福祉士</b>			
						2 級	年1回			短大部	-	1	-	<b>年1回 大学部: 8 2 25.0%</b>			
								2 級	年1回	短大部	-	-	-	<b>学芸員</b>			
						2 級	年1回			短大部	-	-	-	<b>大学部: - 2 -</b>			
								2 級	年1回	短大部	-	9	-	<b>図書館司書</b>			
						2 級	年1回			短大部	-	2	-	<b>年1回 大学部: - 2 -</b>			
								2 級	年1回	短大部	-	-	-	<b>証券外務員</b>			
						2 級	年1回			短大部	-	1	-	<b>一種</b>			
								2 級	年1回	短大部	-	1	-	<b>二種</b>			

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。



# 話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、学生が大学での学びを活かして地域と連携し、課題解決に向けて主体的に活動することを支援しています。主に4つの取り組み（①学生の関心、問題意識から生まれた企画実践②地域との協働で

プロジェクトを企画実践③地域で企画される活動への参加・支援④地域づくり考房『ゆめ』の自主事業）があり、学生たちが積極的に地域づくりにかかわっています。最近の取り組みを紹介します。

## 障がい者の演奏会に感動！ 「Sign」メンバーが楽団「ケ・セラ」定期演奏会でボランティア活動

Sign(サイン)は、これまで聴覚障害についての理解を深めるための活動を通して、聴覚障害のない人が持つ聴覚障害に対する偏見をなくすよう啓発をしてきました。本年度は、聴覚障害だけではなく、障害と共に生きている人に対する理解を深めようと新たな活動に踏み出しました。

5月15日に、楽団「ケ・セラ」の第13回定期演奏会があり、Signのメンバー9名がボランティア活動を行いました。楽団「ケ・セラ」は、音楽を通じて障害をもつ人の自立を支援するために、平成18年に「NPO法人ケ・セラ」の設立とともに、知的発達障害を持つメンバーにより結成されました。定期演奏会は10年を超える歴史ある演奏会です。

当日のボランティア活動は、受付ロビー会場のセッティング、プログラム等の配付資料綴じ込み、受付や会場案内等を行いました。演奏が始まると、学生たちは会場で楽団「ケ・セラ」の鑑賞をさせていただきました。私たちが日常ふられている音楽と違いはある



かもしれないけれど、音楽という世界でたくさんの観客を前に自分を表現する姿に、障害の有無は関係ないと感じることができたと思います。

活動の最後に学生が、「みんなの演奏している姿に、頑張っている姿に、めっちゃ感動した。」と本心から話していました。これからも、ケ・セラのメンバーと関わることで、障害の理解を深めるとともに、障害のある人たちの可能性を感じることができると思います。

(地域づくり考房『ゆめ』運営委員長 廣瀬 豊)



## もったいないクッキングで交流！ 「◎いただきます!!」メンバー 朝日村ヘルスマイトと調理実習

5月18日に朝日村中央公民館で、「◎いただきます!!」プロジェクトのメンバー(4名)と朝日村ヘルスマイト(食生活推進員)16名が合同で調理実習を行いました。朝日村住民福祉課からの依頼で、テキストとして「◎いただきます!!」のメンバーが松本市と制作した「もったいないクッキング サックスレシピ集」を使用しました。

メニューは、ブロッコリーを使う「ケーキサレ」と「ザーサイ」、「さつまいもの皮きんぴら」、さつまいもの煮物をリメイクした「スイートポテト」、「肉みそそうめん」です。学生らは調理台ごとに調理のアドバイスをし

ましたが、人生の先輩方の手慣れた作業に学生自身が学ぶ点がありました。出来上がった料理を囲みでの試食は、まるで親子のような世代間交流となりました。

アンケートを通して、「若い方と一緒に調理で子どもと一緒にいる



気分が嬉しくなっていました」「食べ飽きてしまった煮物もおしゃれにスイートポテトに変身してよいアイデアだと思います」「まだまだ調味料は減らせそうなので工夫してみてください」などの感想や貴重なアドバイスもいただきました。

(地域づくり考房『ゆめ』課長 白井 健司)



# 決算報告

大学事務局長 柴田 幸一

松本大学大学院、松本大学および松本大学松商短期大学部は、平成27年度も定員を上回る学生が在籍し、学生生徒等納付金収入などによって、教育活動に必要な資金を確保することができました。収入から人件費や経費を差し引いた教育活動収支差額は、大学で154,502千円の収入超過となり、これが校舎、運動施設、機器備品、図書等、施設設備を整備する原資となっております。短大で

19,591千円の支出超過となりましたのは、新校舎建設に伴う第二体育館の取壊費用を計上したことによるものであり、教育活動自体の収支バランスには問題があるものではありません。

松商学園高等学校および松本秀峰中等教育学校を含めた学園全体の教育活動収支差額は185,904千円の収入超過であり、財務活動による収支を加減した経常収支差額は189,721千円の収入超過となっておりますので、学園全体としても収支バランスの取れた健全な運営がなされているものと考えております。

また、文部科学省の「ICT推進事業」や「教育活性化設備整備事

## 学校法人 松商学園

### 財産目録 平成28年3月31日 (単位 円)

1. 資産 総額	14,418,879,567
(1) 基本 財産	10,479,215,099
(2) 運用 財産	3,939,664,468
2. 負債 総額	1,098,979,128
(1) 固 定 負債	226,543,753
(2) 流 動 負債	872,435,375
3. 正 味 財 産	13,319,900,439

### 摘要 (単位 円)

摘要	金額
<b>資産の部</b>	<b>10,479,215,099</b>
<b>基本財産</b>	<b>10,479,215,099</b>
土地	420,265㎡ 2,481,164,134
松本市照3-6-1 校用地	44,130㎡ 251,690,330
松本市新村2095-1 校用地	62,900㎡ 1,681,574,944
松本市埋蔵2-1-1 校用地	11,135㎡ 525,156,268
松本市筑摩2丁目2952-3 宅地	202㎡ 839,536
松本市筑摩2丁目2952-10 宅地	969㎡ 4,020,676
松本市筑摩4丁目2438 原野	442㎡ 7,848,217
松本市青白瀧2143 山林	6,641㎡ 964,163
松本市浅間温泉 山林	183,662㎡ 4,070,000
東筑摩郡筑北村松花川原961 原野	110,184㎡ 5,000,000
建物	58,060㎡ 6,050,306,156
学校法人	474㎡ 3,008,012
松本大学	19,980㎡ 2,842,561,599
松本大学松商短期大学部	7,021㎡ 456,586,898
松商学園高等学校	21,816㎡ 1,662,659,436
松本秀峰中等教育学校	8,770㎡ 1,085,490,211
構築物	169件 487,508,691
図書	515,208,987
教育研究用機器備品	423,204,087
管理用機器備品	38,359,499
車輛	593,545
建設仮勘定	482,870,000
<b>運用財産</b>	<b>3,939,664,468</b>
現金預金	2,049,914,373
第2号基本金引当特定預金	1,018,000,000
第3号基本金引当特定預金	167,832,896
退職給与引当特定資産	150,000,000
施設拡充引当特定預金	312,000,000
有価証券	6,488,630
未収入金	180,032,859
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	32,800,138
出資金	200,000
基金拠出金	3,000,000
差入敷金保証金	18,000,000
<b>資産 総 額</b>	<b>14,418,879,567</b>

摘要	金額
<b>負債の部</b>	<b>1,098,979,128</b>
<b>固定負債</b>	<b>226,543,753</b>
長期借入金	226,543,753
<b>流動負債</b>	<b>872,435,375</b>
短期借入金	16,660,000
未払金	186,147,370
前受金	618,993,550
預り金	50,634,455
<b>負債 総 額</b>	<b>1,098,979,128</b>
<b>正 味 財 産 (資産 総 額 - 負債 総 額)</b>	<b>13,319,900,439</b>

### 貸借対照表 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

資産の部	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	<b>12,188,932,335</b>	<b>11,388,652,328</b>	<b>800,280,007</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>10,479,215,099</b>	<b>10,287,035,782</b>	<b>192,179,317</b>
土地	2,481,164,134	2,481,164,134	0
建物	6,050,306,156	6,341,127,993	△ 290,821,837
構築物	487,508,691	547,549,038	△ 60,040,347
教育研究用機器備品	423,204,087	371,310,403	51,893,684
管理用機器備品	38,359,499	38,348,409	11,090
図書	515,208,987	506,657,360	8,551,627
車輛	593,545	878,445	△ 284,900
建設仮勘定	482,870,000	0	482,870,000
<b>特定資産</b>	<b>1,647,832,896</b>	<b>1,063,672,896</b>	<b>584,160,000</b>
第2号基本金引当特定預金	1,018,000,000	750,000,000	268,000,000
第3号基本金引当特定預金	167,832,896	163,672,896	4,160,000
退職給与引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定預金	312,000,000	0	312,000,000
<b>その他の固定資産</b>	<b>61,884,340</b>	<b>37,943,650</b>	<b>23,940,690</b>
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	32,800,138	20,622,448	12,177,690
有価証券	6,488,630	6,488,630	0
出資金	200,000	0	200,000
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
差入敷金保証金	18,000,000	6,237,000	11,763,000
<b>流動資産</b>	<b>2,229,947,232</b>	<b>2,725,699,319</b>	<b>△ 495,752,087</b>
現金預金	2,049,914,373	2,655,311,151	△ 605,396,778
未収入金	180,032,859	70,388,168	109,644,691
<b>資産の部合計</b>	<b>14,418,879,567</b>	<b>14,114,351,647</b>	<b>304,527,920</b>

負債の部	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	<b>226,543,753</b>	<b>269,739,359</b>	<b>△ 43,195,606</b>
長期借入金	0	16,660,000	△ 16,660,000
退職給与引当金	226,543,753	253,079,359	△ 26,535,606
<b>流動負債</b>	<b>872,435,375</b>	<b>773,872,870</b>	<b>98,562,505</b>
短期借入金	16,660,000	16,660,000	0
未払金	186,147,370	116,177,022	69,970,348
前受金	618,993,550	580,784,650	38,208,900
預り金	50,634,455	60,251,198	△ 9,616,743
<b>負債の部合計</b>	<b>1,098,979,128</b>	<b>1,043,612,229</b>	<b>55,366,899</b>

純資産の部	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>	<b>18,410,836,561</b>	<b>17,514,231,305</b>	<b>896,605,256</b>
第1号基本金	16,923,003,665	16,298,558,409	624,445,256
第2号基本金	1,018,000,000	750,000,000	268,000,000
第3号基本金	167,832,896	163,672,896	4,160,000
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 5,090,936,122</b>	<b>△ 4,443,491,887</b>	<b>647,444,235</b>
翌年度繰越収支差額	△ 5,090,936,122	△ 4,443,491,887	△ 647,444,235
<b>基本金の部合計</b>	<b>13,319,900,439</b>	<b>13,070,739,418</b>	<b>249,161,021</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,418,879,567</b>	<b>14,114,351,647</b>	<b>304,527,920</b>

### 資金収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部	予 算	決 算	差 異
<b>収入の部</b>	<b>7,071,193,000</b>	<b>7,091,988,829</b>	<b>△ 20,795,829</b>
<b>学生生徒等納付金収入</b>	<b>3,103,705,000</b>	<b>3,107,271,375</b>	<b>△ 3,566,375</b>
手数料収入	42,208,000	48,941,970	△ 6,733,970
寄付金収入	38,390,000	40,386,132	△ 1,996,132
補助金収入	1,032,139,000	1,044,393,210	△ 12,254,210
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	104,024,000	103,164,365	859,635
受取利息・配当金収入	2,360,000	4,150,139	△ 1,790,139
雑収入	150,603,000	159,569,278	△ 8,966,278
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	565,929,000	618,993,550	△ 53,064,550
その他の収入	70,391,000	70,625,168	△ 234,168
<b>資金収入調整勘定</b>	<b>△ 693,862,000</b>	<b>△ 760,817,509</b>	<b>66,955,509</b>
前年度繰越支払資金	2,655,306,000	2,655,311,151	△ 5,151
<b>収入の部合計</b>	<b>7,071,193,000</b>	<b>7,091,988,829</b>	<b>△ 20,795,829</b>

支出の部	予 算	決 算	差 異
<b>支出の部</b>	<b>7,071,193,000</b>	<b>7,091,988,829</b>	<b>△ 20,795,829</b>
<b>人件費支出</b>	<b>2,585,625,000</b>	<b>2,528,360,800</b>	<b>57,264,200</b>
教育研究経費支出	1,045,759,000	946,000,783	99,758,217
管理経費支出	376,507,000	325,201,417	51,305,583
借入金等利息支出	417,000	333,200	83,800
借入金等返済支出	16,660,000	16,660,000	0
施設関係支出	487,132,000	487,071,200	60,800
設備関係支出	218,926,000	202,640,661	16,285,339
資産運用支出	585,160,000	584,160,000	1,000,000
その他の支出	134,893,000	137,793,765	△ 2,900,765
予備費	10,000,000	10,000,000	0
<b>資金支出調整勘定</b>	<b>△ 148,560,000</b>	<b>△ 186,147,370</b>	<b>37,587,370</b>
前年度繰越支払資金	1,758,674,000	2,049,914,373	△ 291,240,373
<b>支出の部合計</b>	<b>7,071,193,000</b>	<b>7,091,988,829</b>	<b>△ 20,795,829</b>

### 事業活動収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

教育活動収支	予 算	決 算	差 異
<b>教育活動収支</b>	<b>4,494,091,000</b>	<b>4,273,868,840</b>	<b>220,222,160</b>
<b>事業活動収入の部</b>	<b>3,103,705,000</b>	<b>3,107,271,375</b>	<b>△ 3,566,375</b>
学生生徒等納付金	3,103,705,000	3,107,271,375	△ 3,566,375
手数料	42,208,000	48,941,970	△ 6,733,970
寄付金	38,390,000	40,569,732	△ 2,179,732
経常費等補助金	968,904,000	981,753,210	△ 12,849,210
付随事業収入	104,024,000	103,164,365	859,635
雑収入	150,603,000	178,071,982	△ 27,468,982
<b>教育活動収入計</b>	<b>4,407,834,000</b>	<b>4,459,772,634</b>	<b>△ 51,938,634</b>
<b>事業活動支出の部</b>	<b>2,585,625,000</b>	<b>2,520,327,898</b>	<b>65,297,102</b>
人件費	2,585,625,000	2,520,327,898	65,297,102
教育研究経費	1,045,759,000	946,000,783	99,758,217
管理経費	387,907,000	336,564,713	51,342,287
借入金等返済等	0	0	0
<b>教育活動支出計</b>	<b>4,494,091,000</b>	<b>4,273,868,840</b>	<b>220,222,160</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 86,257,000</b>	<b>185,903,794</b>	<b>△ 272,160,794</b>

教育活動外収支	予 算	決 算	差 異
<b>教育活動外収支</b>	<b>2,360,000</b>	<b>4,150,139</b>	<b>△ 1,790,139</b>
<b>事業活動外収入の部</b>	<b>2,360,000</b>	<b>4,150,139</b>	<b>△ 1,790,139</b>
受取利息・配当金	2,360,000	4,150,139	△ 1,790,139
その他の教育活動外収入	0	0	0
<b>事業活動外支出の部</b>	<b>417,000</b>	<b>333,200</b>	<b>83,800</b>
借入金等利息	417,000	333,200	83,800
その他の教育活動外支出	0	0	0
<b>教育活動外支出計</b>	<b>417,000</b>	<b>333,200</b>	<b>83,800</b>
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>1,943,000</b>	<b>3,816,939</b>	<b>△ 1,873,939</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>△ 84,314,000</b>	<b>189,720,733</b>	<b>△ 274,034,733</b>

業」といった補助事業に採択され、大学・短大合わせて61,815千円の施設設備補助金を獲得し、これを活用しながら、総合グラウンド・多目的グラウンドへの照明設備の設置や情報通信機器・音響映像機器をはじめとする設備の整備を行い、さらなる教育環境の充実を図っております。

さらに、教育学部の設置については、新校舎の建設工事が着々と進んでおり、一部工事代金を支払うとともに、翌年度の支払に備えて特定預金への組み入れを行いました。なお、新学部設置に係る支出は、大学部門ではなく、学校法人部門に計上しております。

特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	63,235,000	67,006,951	△ 3,771,951
	特別収入計	63,235,000	67,006,951	△ 3,771,951
	事業活動支出の部			
資産処分差額	資産処分差額	8,160,000	7,566,663	593,337
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	8,160,000	7,566,663	593,337
特別収支差額	55,075,000	59,440,288	△ 4,365,288	

科 目	予 算	決 算	差 異
予備費	10,000,000	10,000,000	0

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 39,239,000	△ 249,161,021	△ 288,400,021
基本金組入額合計	△ 955,850,000	△ 896,605,256	△ 59,244,744
当年度収支差額	△ 995,089,000	△ 647,444,235	△ 347,644,765
前年度繰越収支差額	△ 4,443,491,887	△ 4,443,491,887	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,438,580,887	△ 5,090,936,122	△ 347,644,765

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	4,473,429,000	4,530,929,724	△ 57,500,724
事業活動支出計	4,502,668,000	4,281,768,703	220,899,297

### 松本大学

#### 資金収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,628,484,000	1,630,787,420	△ 2,303,420
	手数料収入	20,028,000	25,380,656	△ 5,352,656
	寄付金収入	1,584,000	1,590,439	△ 6,439
	補助金収入	294,760,000	297,106,944	△ 2,346,944
	資産売却収入	0	0	0
	付随事業・収益事業収入	78,777,000	77,899,929	877,071
	受取利息・配当金収入	0	0	0
	雑収入	56,272,000	62,167,024	△ 5,895,024
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	269,149,000	308,146,050	△ 38,997,050
	その他の収入	47,406,000	47,610,454	△ 204,454
資金収支調整勘定	△ 324,133,000	△ 378,041,928	53,908,928	
前年度繰越収支差額	△ 285,283,000	△ 285,279,646	3,354	
収入の部合計	1,787,044,000	1,787,367,342	△ 323,342	

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
支出の部	人件費支出	968,591,000	948,607,339	19,983,661
	教育研究経費支出	545,569,000	498,658,091	46,910,909
	管理経費支出	204,573,000	181,249,414	23,323,586
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	2,512,000	2,505,600	6,400
	設備関係支出	142,586,000	135,564,554	7,021,446
	資産運用支出	0	0	0
	その他の支出	67,562,000	66,883,946	678,054
	予備費	4,000,000	4,000,000	0
	資金支出調整勘定	△ 44,000,000	△ 75,977,244	31,977,244
	翌年度繰越収支差額	△ 104,349,000	△ 29,875,642	△ 134,224,642
	支出の部合計	1,787,044,000	1,787,367,342	△ 323,342

#### 事業活動収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

教育活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,628,484,000	1,630,787,420	△ 2,303,420	
	手数料	20,028,000	25,380,656	△ 5,352,656	
	寄付金	1,584,000	1,590,439	△ 6,439	
	経常費等補助金	244,552,000	247,010,944	△ 2,458,944	
	付随事業収入	78,777,000	77,899,929	877,071	
	雑収入	56,272,000	63,712,934	△ 7,440,934	
	教育活動収入計	2,029,697,000	2,046,382,322	△ 16,685,322	
	事業活動支出の部	人件費	968,591,000	945,210,716	23,380,284
		教育研究経費	808,569,000	762,301,082	46,267,918
		管理経費	207,773,000	184,368,154	23,404,846
		徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計		1,984,933,000	1,891,879,952	93,053,048	
教育活動収支差額	44,764,000	154,502,370	△ 109,738,370		

教育活動外収支	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	0	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	0	0	0	
科 目	予 算	決 算	差 異	
経常収支差額	44,764,000	154,502,370	△ 109,738,370	

特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	50,208,000	53,370,633	△ 3,162,633
	特別収入計	50,208,000	53,370,633	△ 3,162,633
	事業活動支出の部			
資産処分差額	資産処分差額	490,000	784,474	△ 294,474
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	490,000	784,474	△ 294,474
特別収支差額	49,718,000	52,586,159	△ 2,868,159	

科 目	予 算	決 算	差 異
予備費	4,000,000	4,000,000	0

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 90,482,000	△ 207,088,529	△ 116,606,529
基本金組入額合計	△ 145,240,000	△ 112,940,090	△ 32,299,910
当年度収支差額	△ 54,758,000	△ 94,148,439	△ 148,906,439
前年度繰越収支差額	△ 884,392,196	△ 884,392,196	0
翌年度繰越収支差額	△ 939,150,196	△ 790,243,757	△ 148,906,439

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	2,079,905,000	2,099,752,955	△ 19,847,955
事業活動支出計	1,985,423,000	1,892,664,426	92,758,574

### 松本大学松商短期大学部

#### 資金収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	398,610,000	398,372,900	237,100
	手数料収入	7,700,000	8,854,714	△ 1,154,714
	寄付金収入	146,000	177,608	△ 31,608
	補助金収入	101,246,000	100,886,640	359,360
	資産売却収入	0	0	0
	付随事業・収益事業収入	4,610,000	4,255,936	354,064
	受取利息・配当金収入	0	0	0
	雑収入	33,120,000	35,081,198	△ 1,961,198
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	139,380,000	158,387,500	△ 19,007,500
	その他の収入	15,933,000	15,950,080	△ 17,080
資金収支調整勘定	△ 146,493,000	△ 158,637,940	12,144,940	
前年度繰越収支差額	2,634,654,000	2,634,654,414	414	
収入の部合計	3,188,906,000	3,197,983,050	△ 9,077,050	

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
支出の部	人件費支出	332,434,000	322,297,729	10,136,271
	教育研究経費支出	177,067,000	163,321,791	13,745,209
	管理経費支出	36,828,000	32,464,756	4,363,244
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	950,000	939,600	10,400
	設備関係支出	24,008,000	22,763,330	1,244,670
	資産運用支出	0	0	0
	その他の支出	13,642,000	13,634,547	7,453
	予備費	2,000,000	2,000,000	0
	資金支出調整勘定	△ 33,500,000	△ 39,120,578	5,620,578
	翌年度繰越収支差額	2,635,477,000	2,681,681,875	△ 46,204,875
	支出の部合計	3,188,906,000	3,197,983,050	△ 9,077,050

#### 事業活動収支計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

教育活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	398,610,000	398,372,900	237,100	
	手数料	7,700,000	8,854,714	△ 1,154,714	
	寄付金	146,000	361,208	△ 215,208	
	経常費等補助金	89,044,000	89,167,640	△ 123,640	
	付随事業収入	4,610,000	4,255,936	354,064	
	雑収入	33,120,000	37,712,572	△ 4,592,572	
	教育活動収入計	533,230,000	538,724,970	△ 5,494,970	
	事業活動支出の部	人件費	332,434,000	320,474,719	11,959,281
		教育研究経費	219,167,000	205,376,370	13,790,630
		管理経費	36,828,000	32,464,756	4,363,244
		徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計		588,429,000	558,315,845	30,113,155	
教育活動収支差額	△ 55,199,000	△ 19,590,875	△ 35,608,125		

教育活動外収支	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	0	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	0	0	0	
科 目	予 算	決 算	差 異	
経常収支差額	△ 55,199,000	△ 19,590,875	△ 35,608,125	

特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	12,202,000	11,719,000	483,000
	特別収入計	12,202,000	11,719,000	483,000
	事業活動支出の部			
資産処分差額	資産処分差額	7,320,000	6,782,043	537,957
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	7,320,000	6,782,043	537,957
特別収支差額	4,882,000	4,936,957	△ 54,957	

科 目	予 算	決 算	差 異
予備費	2,000,000	2,000,000	0

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 52,317,000	△ 14,653,918	△ 37,663,082
基本金組入額合計	0	△ 15,375,141	15,375,141
当年度収支差額	△ 52,317,000	△ 30,029,059	△ 22,287,941
前年度繰越収支差額	1,515,992,174	1,515,992,174	0
翌年度繰越収支差額	1,463,675,174	1,485,963,115	△ 22,287,941

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	545,432,000	550,443,970	△ 5,011,970
事業活動支出計	595,749,000	565,097,888	30,651,112

# 地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション



地域健康支援ステーションでは、地域の健康づくりを栄養と運動の両面からお手伝いしています。最近の活動を紹介します。

管理栄養士スタッフ 飯澤 裕美  
健康運動指導士スタッフ 赤津 恵子

## 大学発で社員食堂 ヘルシーメニューを提供しました

株式会社サイベックコーポレーション(塩尻市)とその社員食堂を請け負う株式会社メフォス、そして松本大学のコラボレーションにより、社員の昼食として学生の考えたヘルシーメニューを提供しました。

初回の3月8日は「適塩で野菜たっぷりバランスランチ」をテーマに「チキンとねぎのグリル大根おろし添え」を、2回目の6月14日は「ポリウム中華でヘルシーランチ」をテーマに「あんかけ中華そば」の定食メニューをそれぞれ味わっていただきました。



食事をしている時間を利用して学生から社員の方々に、メニューに込めた健康な食事への思いを伝えました。また、ヘルシーメニューの食塩濃度0.8%のみそ汁を試飲して各家庭の味と比べていただいたり、調理法による油の摂り方についての話をしたり、自身の健康づくりに役立てられるような情報提供も行いました。「手間をかけていただきありがたい」「素材の味がしっかり出ている減塩でもおいしかった」などのうれしい感想をいただきました。

## 地域の食生活について 講演しました

辰野町から依頼を受け、4月14日に辰野町保健福祉センターで約120名の保健指導員の方々に地域の食生活について講演をしました。「食する力」を育もうと題し、長野県の健康課題が「脳血管疾患」であること、その危険因子の一つである「高血圧」を予防・改善するための生活習慣のポイントを解説し、バランスよい食事を実践するための「食事バランスガイド」の活用法や、健

康食品・保健機能食品の分類などについてお話ししました。

さらに、「2種類の砂糖水の飲みくらべ」で、温度を変えたり、酸味を加えたりした砂糖水を飲み比べて甘味の感じ方の違いを体験していただき、清涼飲料水は冷たく口当たりはよいが糖分が多く含まれているので注意しなければならないことなどをお話ししました。

参加者からは、「食事バランスガイドがわかりやすく、活用していきたい」「ドリンクの飲み方に気をつけたい」「あと一皿の料理を心がけたい」など意欲的な感想をいただきました。地域の皆様の健康づくりを支援する保健指導員の方々の活動の参考になりましたら幸いです。

## 松本市食生活改善推進員総会で 運動指導をしました

松本市の食生活改善推進員総会で運動の有用性について実践を取り入れた講話をしてほしいとの依頼を受け実施しました。小雨降る3月12日、130人余りの食生活改善推進員の方々が「大往生の朝までお三歩できた」と題した健康寿命の延伸と運動の関係についてのスライドを熱心にご傾聴くださいました。栄養と運動は健康づくりの根幹であり、参加者は日頃から健康に高い関心がある方々です。体力はピーク時からおよそ年1%ずつ減少し30%になってしまうとどんな人でも寝たきり状態になってしまうこと、年間死亡率から見ると運動している人は死亡率が低いこと、60歳代を過ぎてからその差が顕著であり、80歳前半ではほとんど運動しないグループと、わずかに運動するグループとではおよそ2倍の差があるため、今からでも運動に励んで頂きたいこと、さらに80歳の女性の平均余命は13年近くもあるのでこれからは重要であることを説明しました。講話の後、いつでもどこでも誰でもできる運動を全員で実践しました。推進員の皆様が、ご本人はもとより地

域の高齢者と接する中で、その方々にも容易に指導できる内容です。多くの参加者から、「1日でも要介護を遅らせるため運動でロコモ予防と認知症予防に取り組みたい」「大変役に立つ内容だった」等のご感想を頂きました。



## 宮田村で体力アップのための 歩き方を指導しました

宮田村の公民館から、村民の健康維持増進のため体力がアップする、速歩の方法を3回に渡って本格的に学びたいと依頼があり、5月に2回、6月に1回講師を務めました。1週100mと広い屋内運動場で、1回目は、スライドを使った速歩の意義について講話をした後、歩くための正しい姿勢、速歩に適した歩幅の実測、歩く前の必須ストレッチ等を指導しました。2回目はグループに分かれて、体力アップに適した個人のペースを掴みました。脈拍から運動の強さを割り出す方法、全力歩行をした後その70%で歩く方法、また自分の感覚を頼りにする方法があるため、全力歩行で早歩きを行い同時に脈拍もチェックしました。脈拍チェックは、手首が頸動脈で自己計測しました。機器を使用していないため多少の誤差が生じましたができる範囲で割り出しをしました。参加者からは「早歩きのペースは楽ではないが頑張りたい」「早歩きを継続して移動能力を維持したい」等のご感想を頂きました。



皆さまのお近くで、学生や専門スタッフ(管理栄養士・健康運動指導士)が  
お手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください。

## 高大連携型のキャリア教育を行いました

5月23日に長野商業高校の1年生約240名が、「高大連携型キャリア教育」のため本学を訪れました。当日は、午前中に大学生のパネルディスカッションや入試広報室長の講和を聞くなどした後、午後は市内の企業や商店街の街づくりの様子を視察しました。長野商業高校では、学年の全生徒が大学を介して行



キャリア教育は初めての試みでした。このうちパネルディスカッションでは、商業高校を卒業した本学の学生が参加して、今高校生に伝えたいこと、高校から大学へ繋がる学習の素晴らしさなどを語り、高校生も熱心に聞き入っていました。また午後はクラス別に行動し、このうち1クラスは本学白戸ゼミが活動している上土商店街のホールに集まり商店の方々

の話を聞きながら、若者が街づくりに果たした役割について学習しました。オープンキャンパスとは異なるこのような高大連携型のキャリア教育は、高校側の新たな学びとして注目されます。

(観光ホスピタリティ学科 教授 大野 整)

## 今年度も教員免許状更新講習が始まりました

昨年度はじめて開催し好評を得た松本大学での教員免許状更新講習が、今年度も6月4日を皮切りに始まりました。今回から更新講習の内容が改正され、必修領域が2つに分かれました。必修領域は、必修領域講習を6時間、選択必修領域講習を6時間以上受講することになっており、それに合わせた講座を準備いたしました。選択領域講習は、昨年同様に18時間以上受講することになります。受講者の方々の希望やニーズに基づき、「必修領域」の内容を精選し、受講



者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験等に応じて、適時に現代的な教育課題を学べるようになっていきます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

(教職センター長 川島 一夫)

## 平成27年度の学業成績優秀者を表彰

4月14日に、平成27年度松本大学学業成績優秀者表彰式・松商短期大学部後期成績優秀者表彰式を行いました。総合経営学部・人間健康学部では進級時に前年度の成績をもとに各学科の成績トップの学生を、松商短期大学部では「トップ10」として、後期の成績上位10名を表彰し、ともに奨励金として授業料10万円を減免(特待生は除く)しました。



受賞者を紹介します。総合経営学部▽武田 梨那(4年)、二村有紀(3年)、赤羽 祐香(2年)／観光ホスピタリティ学部▽上條 陽子(4年)、堀越 麻那(3年)／健康栄養学部▽大島 明美(4年)、伊藤 舞香(3年)、赤羽 由里子(2年)／スポーツ健康学部▽中澤 久美(4年)、大沢 育未(3年)、齋藤 千春(2年)松商短期大学部／商学科▽大平 菜美加、岸田 彩子、島岡 亜美／経営情報学部▽青木 瑞恵、奥原花音、小澤 周作、笠原 唯、矢口 紗也、山崎 夢叶、吉田 由依(いずれも2年)

(教務課長 丸山 勝弘)

## 平成28年度松本大学後援会総会を開催

5月28日に、平成28年度松本大学後援会総会を開催しました。次の議案について審議がなされ、全会一致で承認されました。第1号議案 平成27年度会務報告 第2号議案 平成27年度決算 第3号議案 平成28年度会務および予算 第4号議案 平成28年度役員選出

総会に引き続き、後援会主催の講演会が開催され、「人手不足を生産性向上、地方創生のチャンスに」というテーマで総合経営学部・兼村智也教授が講演しました。

お忙しい中、たくさんの皆様にお集まりいただき盛会のうちに一連の行事が終了しました。

議事終了後、大学院研究科長、総合経営学部長、人間健康学部長、松商短期大学部長が学事報告をしました。



## 第3回学長表彰～教職員が表彰されました～

2015年度学長表彰の表彰式を、4月28日の開学記念日に行いました。表彰者と表彰理由は次のとおりです。▽上野隆幸教授(総合経営学部総合経営学科)：自己点検・評価委員会の認証評価準備部会の責任者として松本大学認証評価で適合認定を得るための任務を遂行。入試委員会の責任者として学生募集に尽力。▽大飼己紀子教授(人間健康学部スポーツ健康学科)：ラート競技部を全日本インカレ団体及び女子個人総合優勝の快挙に導く。学生にアイスプレーキングの手法を浸透。▽浜崎央教授(短期大学部経営情報学科)：適格認定を受けた短期大学部第三者評価で責任者として力を発揮。教務責任者として

フィールド・ユニット制に伴う複雑な時間割を自動的に作成するプログラム開発。

事務職員の「Best staff of the year 賞」には次の2名が選ばれました。▽総務課・赤羽研太課長：大学、短大部の認証評価と教育学部設置申請の取り組みを円滑に進めた。▽教務課・田嶋哲也主事：教員免許状更新講習の円滑運営、教育学部課程認定の申請に尽力した。

また学長裁量による団体表彰では、2015年度長野県教員採用試験において本学初の現役合格者を輩出し(現役生5名1次試験突破)、「教員免許状更新講習」を開催し県内での本学の認知度向上に貢献した教職センターが表彰されました。

## 今年度の動物慰霊祭を開催しました

5月18日に動物慰霊祭が執り行われました。

本学では、学生の授業や大学院生・教員による研究活動で動物実験を行っています。毎年、教職員・大学院生・学部生が参加し、犠牲になった実験動物への追悼と感謝の意を捧げるために行われています。

動物実験の実施は、他に代替手段が



ないこと(Replacement)、動物に苦痛を与えることの無いよう最大限配慮すること(Refinement)、必要最小限の動物を用いること(Reduction)の3Rを条件に法律で認められています。動物愛護や生命倫理について理解し、尊い命が犠牲になることの意味を考える良い機会にもなっています。

当日は動物実験実施者代表から動物への感謝の言葉が述べられた後、参列者から献花が行われました。動物の犠牲の上に教育や研究の発展が成り立っていることを改めて認識できたと思います。

(健康栄養学科 助手 塚田 晃子)

本学では他にも、次のような出来事がありました。

- 「第11回大学生協総代会」が5月24日に開催されました。理事・監事・総代員合わせて約30名が出席し、①前年度の事業報告および決算関係の承認、②今年度の事業計画

および予算決定、③今年度の生協役員選出の確認が無事になされました。

- 平成28年度の第1回目となる校友会が5月7日に開催されました。卒業生と本学教職員25名が集まり、教育現場での近況報告などを行いました。

## 女子ソフトボール部

### 11年連続でインカレ出場決める

5月28日、29日、「第22回北信越大学ソフトボール選手権大会(兼)文部科学大臣杯第51回全日本大学ソフトボール選手権大会北信越予選会」が福井県おおい町を舞台に開催され、本学の女子ソフトボール部が創部以来11年連続で優勝を果たし、全国大会(インカレ)への出場を決めました。

大会はリーグ戦で行われ、全勝対決となった最終戦の金沢学院大を杉山恭香(人間健康学部3年)が鮮やかな投球で4-0と締めくくり全勝優勝を決めました。大会前にケガ人が続出し、一時はどうかかるか危ぶまれましたが、結果的には全試合完封と他のチームとの地力の違いを見せつける優勝となりました。全国大会(インカレ)は鹿児島県南九州市で8月26日から行われます。

(女子ソフトボール部部長兼監督 岩間 英明)



## 軟式野球部

### 4年連続で全国大会出場へ!

松本大学軟式野球部は、4月23日より、長野県大学軟式野球選手権春季リーグ(出場6校)に参戦し、4年連続で全国大会出場の切符を勝ち取りました。

リーグ初戦の対長野大学戦、2回戦の対信州大学(松本)戦のいずれも同点



で、苦しいスタートとなりましたが、その後の信州大学(長野)戦や諏訪東京理科大学戦、長野保健医療大学戦の3つは全て勝利し、上位3チームで争うプレーオフに進むことができました。

プレーオフは5月28日に行われ、まず、3位の信州大学(松本)と対戦し、先制するとそのまま試合の流れを渡すことなく4対1で勝利。決勝の対信州大学(長野)戦では、連戦という不利な状況にも関わらず、連投した三澤克弥投手(総合経営学部3年)の力投を中心に最後まで守りぬき、3対1で勝利を手にすることができました。

7月上旬に予定されている全国大会では、昨年の全国ベスト4に恥じめ戦いを展開できるよう、太田直樹キャプテン(総合経営学部3年)を中心に部員一同これからの練習に臨み、チーム力の向上に取り組んでいきます。

(軟式野球部部長 等々力 賢治)

## 硬式野球部

### 3月に「松球寮」が完成

松本大学硬式野球部の松球寮が、松本市両島地区にこのほど完成し、3月30日に関係者が出席して竣工式が行われました。長年使用していた寮が老朽化したことから、新入生の入学に合わせて、昨年秋から建設工事が行われておりました。



冷暖房完備の個室をはじめ広々とした食堂や浴室など清潔で使いやすい施設となっています。硬式野球部は、5月より新しい主将の下で、

### H28 関甲新学生野球連盟春季2部リーグ戦勝敗表

大学名	作新学院	常盤	埼玉	茨城	松本	宇都宮	順位
作新学院	●0-1 ○2-0	○13-4 ○11-6	○6-2 ○6-3	○11-2 ○13-6	○7-6 ○10-0		1
常盤	○1-0 ●0-2	●9-6 ○1-6	○1-3 ○13-0	○11-2 ○7-3	●1-5 ○16-0		2
埼玉	●4-13 ●6-11	○6-9 ○6-1	●4-6 ○9-5	○6-4 ○5-3	○13-8 ○7-4		3
茨城	●2-6 ●3-6	○3-1 ○0-13	○4-6 ○9-5	●1-2 ●2-6	○4-1 ○3-0		4
松本	●2-11 ●6-13	●2-11 ●5-7	○3-5 ○3-0	○2-1 ○6-2	○4-0 ○3-4		4
宇都宮	●6-7 ●0-10	○5-1 ●0-16	●8-13 ●4-7	○1-4 ●0-3	○0-4 ○4-3		6

秋のリーグ戦に照準をあわせて日々練習に取り組んでいます。快適な寮生活を通じてより一層部員の意識が高まっております。

(硬式野球部部長 白戸 洋)

## 陸上競技部

### 2名の選手が日本インカレ出場へ

5月に長野市で開催された「第90回北信越学生陸上競技対校選手権大会」において、清水泰志君(観光ホスピタリティ学科4年)が男子400mハードルで、中澤久美さん(スポーツ健康学科4年)が女子七種競技でそれぞれ初優勝し(共に自己新記録)、9月に埼玉県熊谷市で開催される「第95回日本学生陸上競技対校選手権大会(通称:日本インカレ)」への出場権を獲得しました。また、男子1600mリレーでは3位となり、リレー種目で男女合わせて初の表彰台となる健闘を見せてくれました。

(陸上競技部顧問 白澤 聖樹)



### ◇第90回北信越学生陸上競技対校選手権大会

(5月21日(土)~22日(日)/長野市宮城上競技場)

#### 【男子】

■400mH	清水 泰志(観光ホスピタリティ4年)	1位	52秒71
■200m	常盤 大智(総合経営3年)	5位	21秒91
■400m	浦野 泰希(観光ホスピタリティ4年)	5位	48秒46
■400mR	安藤 直哉(スポーツ健康4年)/常盤 大智/ 小野澤 運也(総合経営3年)/浦野 泰希	7位	42秒92
■1600mR	小林 航(スポーツ健康2年)/水島 優(スポーツ健康2年)/ 清水 泰志/浦野 泰希	3位	3分17秒73
■棒高跳	関 和次(スポーツ健康2年)	4位	3m90
■走幅跳	青沼 和紀(スポーツ健康4年)	4位	7m32
■三段跳	竹内 篤史(スポーツ健康3年)	8位	13m83
■円盤投	丸山 貴由人(総合経営2年)	7位	33m06
■やり投	丸山 幹稀(スポーツ健康1年)	4位	58m90

#### 【女子】

■七種競技	中澤 久美(スポーツ健康4年)	1位	4218点
■200m	村松 広捺(健康栄養3年)	7位	25秒97
■400m	村松 広捺	3位	57秒32
■5000m	長村 紋(観光ホスピタリティ4年)	4位	57秒58
■100mH	佐々木 佑起(健康栄養2年)	8位	21分03秒17
■400mH	中澤 久美	4位	14秒95
■400mR	新井 咲(健康栄養1年)	7位	16秒48
■1600mR	渡邊 希(スポーツ健康1年)	8位	17秒75
■400mH	南澤 明音(観光ホスピタリティ1年)	6位	1分07秒36
■400mR	長村 紋/村松 広捺/萩原 楓(スポーツ健康2年)/南澤 明音	4位	49秒28
■1600mR	南澤 明音/中澤 久美/萩原 楓/村松 広捺	5位	4分03秒87

※Hはハードル、Rはリレーの略

# 2017年度 入試日程

全入試において「WEB出願」を実施します。  
詳しくは松本大学入試情報サイトでご確認ください。  
▶ [www.matsumoto-u.ac.jp/admissions](http://www.matsumoto-u.ac.jp/admissions)

## ■ 総合経営学部/総合経営学科・観光ホスピタリティ学科 (定員:各学科 80名、編入学 各学科 5名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日		
	総合経営	観光ホスピタリティ							
推薦	推薦前期(指定校/公募)	30	30	松本大学	2016年 11月 1日(火) ~ 11月 11日(金)	11月 19日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
	推薦後期	5	5	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	自己推薦	5	5	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
AO	AOⅠ期	5	5	エントリー 面談 出願	2016年 8月 1日(月) ~ 8月 20日(土) 8月 29日(月) ~ 9月 1日(木) 9月 5日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
	AOⅡ期	5	5	エントリー 面談 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 11日(火) ~ 10月 14日(金) 10月 24日(月) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
一般	一般A	15	15	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 1月 27日(金)	2月 4日(土)	2月 15日(水)	3月 1日(水)	
	一般B	3	3	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 17日(金)	2月 5日(日)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)
	一般C	2	2	松本大学	2017年 2月 27日(月) ~ 3月 6日(月)	2月 23日(水)	3月 9日(木)	3月 13日(月)	3月 21日(火)
センター	センター利用Ⅰ期	6	6	松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 2月 3日(金)	2月 15日(水)	2月 15日(水)	3月 1日(水)	
	センター利用Ⅱ期	2	2	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 21日(火)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)	
	センター利用Ⅲ期	2	2	松本大学	2017年 2月 27日(月) ~ 3月 7日(火)	3月 9日(木)	3月 13日(月)	3月 21日(火)	
その他	外国人留学生前期	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	外国人留学生後期	若干	若干	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 17日(金)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)	
	帰国生	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	社会人	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	編入学Ⅰ期	3	3	松本大学	2016年 8月 29日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
	編入学Ⅱ期	2	2	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	転入学Ⅰ期	若干	若干	松本大学	2016年 8月 29日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
	転入学Ⅱ期	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	

## ■ 人間健康学部/健康栄養学科・スポーツ健康学科 (定員:各学科 80名、編入学 各学科 5名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日		
	健康栄養	スポーツ健康							
推薦	推薦前期(指定校/公募)	30	32	松本大学	2016年 11月 1日(火) ~ 11月 11日(金)	11月 20日(日)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
	推薦後期	3	3	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 10日(土)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	自己推薦	3	3	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 10日(土)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
AO	AO(健康栄養)	5	10	エントリー 模擬授業 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 8日(土) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
	AOⅠ期 (スポーツ健康)	5	10	エントリー 模擬授業 出願	2016年 8月 1日(月) ~ 8月 20日(土) 8月 26日(金) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
	AOⅡ期 (スポーツ健康)	5	5	エントリー 模擬授業 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 8日(土) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
一般	一般A	20	15	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 1月 27日(金)	2月 4日(土)	2月 15日(水)	3月 1日(水)	
	一般B	3	3	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 17日(金)	2月 5日(日)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)
	一般C	3	3	松本大学	2017年 2月 27日(月) ~ 3月 6日(月)	2月 23日(水)	3月 9日(木)	3月 13日(月)	3月 21日(火)
センター	センター利用Ⅰ期	10	6	松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 2月 3日(金)	2月 15日(水)	2月 15日(水)	3月 1日(水)	
	センター利用Ⅱ期	3	2	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 21日(火)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)	
	センター利用Ⅲ期	3	2	松本大学	2017年 2月 27日(月) ~ 3月 7日(火)	3月 9日(木)	3月 13日(月)	3月 21日(火)	
その他	社会人AO (健康栄養)	若干	若干	エントリー 模擬授業 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 8日(土) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
	社会人AOⅠ期 (スポーツ健康)	若干	若干	エントリー 模擬授業 出願	2016年 8月 1日(月) ~ 8月 20日(土) 8月 26日(金) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
	社会人AOⅡ期 (スポーツ健康)	若干	若干	エントリー 模擬授業 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 8日(土) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)	
	外国人留学生・帰国生	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 10日(土)	12月 15日(木)	1月 10日(火)	
	編入学Ⅰ期	3	3	松本大学	2016年 8月 29日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)	
編入学Ⅱ期	2	2	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 10日(土)	12月 15日(木)	1月 10日(火)		

## ■ 松商短期大学部/商学科・経営情報学科 (定員:各学科100名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	
	商	経営情報						
推薦	スカラシップ推薦	若干	若干	松本大学	2016年 11月 1日(火) ~ 11月 7日(月)	11月 12日(土)	11月 15日(火)	11月 28日(月)
	推薦前期(指定校/公募)	60	60	松本大学	2016年 11月 1日(火) ~ 11月 11日(金)	11月 19日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)
	推薦後期	5	5	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)
	自己推薦	5	5	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)
AO	AOⅠ期	5	5	エントリー 面談 出願	2016年 8月 1日(月) ~ 8月 20日(土) 8月 29日(月) ~ 9月 1日(木) 9月 5日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)
	AOⅡ期	5	5	エントリー 面談 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 11日(火) ~ 10月 14日(金) 10月 24日(月) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)
一般	一般A	6	6	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 1月 27日(金)	2月 4日(土)	2月 15日(水)	3月 1日(水)
	一般B	2	2	松本大学	2017年 2月 15日(水) ~ 2月 27日(月)	2月 3日(金)	3月 8日(水)	3月 21日(火)
	一般C	2	2	松本大学	2017年 3月 6日(月) ~ 3月 16日(木)	2月 22日(水)	3月 24日(金)	3月 28日(火)
センター	センター利用Ⅰ期	6	6	松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 2月 3日(金)	2月 15日(水)	2月 15日(水)	3月 1日(水)
	センター利用Ⅱ期	2	2	松本大学	2017年 2月 15日(水) ~ 2月 21日(火)	2月 23日(水)	3月 8日(水)	3月 21日(火)
	センター利用Ⅲ期	2	2	松本大学	2017年 3月 6日(月) ~ 3月 21日(火)	3月 22日(水)	3月 24日(金)	3月 28日(火)
その他	社会人AOⅠ期	若干	若干	エントリー 面談 出願	2016年 8月 1日(月) ~ 8月 20日(土) 8月 29日(月) ~ 9月 1日(木) 9月 5日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)
	社会人AOⅡ期	若干	若干	エントリー 面談 出願	2016年 9月 22日(木) ~ 9月 30日(金) 10月 11日(火) ~ 10月 14日(金) 10月 24日(月) ~ 10月 28日(金)	11月 12日(土)	11月 25日(金)	12月 8日(木)
外国人留学生・帰国生	外国人留学生前期	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)
	外国人留学生後期	若干	若干	松本大学	2017年 2月 6日(月) ~ 2月 17日(金)	2月 23日(水)	3月 2日(木)	3月 16日(木)
	帰国生	若干	若干	松本大学	2016年 11月 28日(月) ~ 12月 5日(月)	12月 11日(日)	12月 15日(木)	1月 10日(火)

## ■ 松本大学大学院/健康科学研究科健康科学専攻 (一般学生・学内推薦学生・社会人共通)

試験区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
前期	3	松本大学	2016年 8月 29日(月) ~ 9月 9日(金)	9月 16日(金)	9月 21日(水)	10月 7日(金)
後期	3	松本大学	2017年 1月 10日(火) ~ 1月 27日(金)	2月 5日(日)	2月 15日(水)	3月 1日(水)

## ■ 教育学部/学校教育科 [設置認可申請中] (定員:80名)

試験区分:推薦(公募)・AO・一般・センター・その他 募集開始:9月下旬予定 ※予定であり、変更となる場合があります。

## 簿記との出逢い

松商短期大学部 准教授 香取 智宜

なぜ、私は簿記の勉強をはじめたのか？私の祖父、父はともに税理士であり、この二人が税理士という職業の自由人であったことが、私を簿記という自由人になるための一歩としての学問に導いたのかもしれない。私は、将来の目的もなく、ただ安易に大学くらいは行きたいと思っていた。そんなとき、父からの「簿記はおもしろいぞ！」というインチキ？なアドバイスに乗せられて大学受験をし、税理士を目指すことになった。しかし、大学に入学するや否や、授業はさぼり、飲酒、喫煙と不真面目この上ない学生生活を謳歌？しており、当初の税理士になると

いう目的なぞ遠い過去の話のように、あっという間に大学4年生になっていた。このような状況で果たして税理士試験に合格できるのか？そもそも税理士試験の導入学習である簿記ですら怪しいものであった。

人間とは常に楽な道を選びたがるものである。少なくとも私はそういうタイプである。私の学生時代は、まだバブル経済の余韻が残っており、就職をするのも売り手市場であったから、就職もそれなりにできたかもしれないし、私の悪友も然るべき企業に就職が決まっていた。それならば一層のことサラリーマンとして人生を歩むのも一つの選

択肢ではないのか？そんな中、ゼミの先生からの「君の志はどうした？サラリーマンになることが当初の目的だったのか？」という一言が、それからの私の気持ちを一新させた。

再び税理士になることを決意し、運よく簿記の専門学校の講師の職を得て簿記を教えながら無事税理士試験に合格することができた。しかし、目的を達成すると税理士になることより、簿記の講師として教えることの楽しさを感じていた。結局、私は税理士ではなく大学教員として学生に簿記を教えている。もし、私が簿記と出逢わなければ、松本大学に赴任することもなかっただろう。まさに「芸(簿記)は身を助ける！」、「芸(簿記)は人の生き方を変える！」。人生とは本当に不思議なものである。

## Information

### 進路を決める夏! 2016オープンキャンパス

高校生はもちろん、保護者や教員の方もぜひご参加ください。 [途中参加・途中退出可]

7/31日 8/20日 9/25日 ※7/31日、9/25日は短大1日体験同時開催

【内容】松本大学・松商短大概要説明、学科説明、ミニ講義、体験講座、トレーニングルーム体験、ランチ無料体験、キャンパス見学ツアー、個別相談(入試・授業・資格・就職・学生なんでも相談) etc.

**無料シャトルバス運行**  
右記の各駅から ※松本駅以外要予約

**長野県内** 松本、長野、上田、佐久平、岡谷、下諏訪、茅野、伊那(上伊那農業高校前)、飯田 / **山梨県** 甲府、小淵沢 / **新潟県** 新潟、高田

### 高校生のための公開授業

7/18日 10/10日

松本大学は受験生の皆さんの本学への理解を深めていただくために、全学部、全学科で通常授業を公開します。

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

[www.matsumoto-u.ac.jp](http://www.matsumoto-u.ac.jp) ☎0120-507-200

#### 新刊情報

### 「地域づくり再考—地方創生の可能性を探る」

本学で開催したCOC公開講座の講演録を収録。少子高齢化によりダウンサイジング必至の地域社会。そこから立ち上がるコミュニティ・ビジネス。発想を転換した防災とボランティア活動、青少年の心身の健康など、「ひとづくり」「まちづくり」「健康づくり」の新しい可能性が満載!

松本大学COC戦略会議/編/松本大学出版会/A5版/356ページ



### 「M@tsu.navi」が学内を案内します!

松本大学では、オープンキャンパスの運営や、高校生・地域の皆様が大学を訪れた際のガイド



を、学生のボランティアスタッフである「松本大学キャンパスナビゲーター」『M@tsu.navi(マツナビ)』が行っています。『M@tsu.navi』は、大学の顔となって活動する学生の自主組織で、発足から10年余、登録者は大学・短大合わせて100名を超えています。お揃いの赤いポロシャツで、学内のガイド役はもちろん、特にオープンキャンパスでは「日本一のオープンキャンパス」を目指して、高校生が楽しめる様々な企画の立案から運営までを行います。キビキビと動く姿、そして優しい笑顔は、大学を訪れる多くの高校生の憧れとなっており、また学生にとっても、『M@tsu.navi』での活動が大きな自信と財産になっています。



### 編集後記

4月に入学した学生も、この時期になるとようやく大学生活にも慣れ、落ち着きがみられるようになりました。あと1ヵ月ほどで前期試験になりますが、がんばってもらいたいものです。さて、本学では、昨年度から教育学部の新設や既存学部・学科の改革など平成29年度に向けて様々な準備を行ってきましたが、ようやくそれが目に見える形になりました。今までの地域に根ざした各種の取り組みに加えて、より広くて大きな領域にも挑戦しており、さらにパワーアップした松本大学になると思います。自分自身も、もっともっと挑戦・成長しなければ!

(記・広報委員長 山田 一哉)

